TOSHIBA
Leading Innovation >>>

REGZA

地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ
取扱説明書

32C8000／37C8000／42C8000

操作編

:: 最初に別冊の「準備編」をお読みください。
:: 本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
:: 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

操作編目次

はじめに

テレビを見る

映像・音声設定をする

録画・予約をする

レグザリンクを使う

困ったときは

その他

別冊(準備編)もくじ

※ 以下は別冊の内容です。(一部省略しています。準備編もよくお読みください)

準備編(別冊)

ご使用の前に

設置と基本の接続・設定

外部機器の接続と設定

その他の機能の接続・設定

資料

この取扱説明書内のマークの見かた

参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。

機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。

取扱上のお願いを記載しています。

取扱上のご注意を記載しています。

■ 正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

● 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
ときどき目を休めましょう。

■ 音量は適切に

● 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

● この取扱説明書は、32C8000、37C8000、42C8000で共用です。記載しているイラストは32C8000のものです。他の機種はイメージが多少異なります。

本機の特長

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、 ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。（本機は車両や船舶などに搭載しての使用を意図していません）
携帯電話などで受信できる部分受信サービス（ワンセグ）は、受信できません。
また、地上デジタル音声放送は受信できません。

おまかせ映像機能

●周囲の明るさと見ている映像の情報をもとに、最適な画質に本機が自動で調整します。24
また、お好みの調整に変更することもできます。

●リモコンのおまかせ映像ボタンを押せば、すばやく映像メニューを切り換えたり、画面の明るさを調整することができます。

レグザリンク搭載

●本機と東芝製のHDMI連動機能対応機器（レコーダー、パソコン、カメラなど）や東芝推奨のHDMI連動機能対応のAVシステムをHDMIケーブルでつなぐと、本機のリモコンで操作することができます。40
※HDMI連動機能を使うには、本機と接続機器それぞれで設定が必要です。

番組表機能を搭載

●7チャンネル6時間分（6チャンネル6時間表示も選択可能）の番組表を一度に表示し、見たい番組を探すことができます。さらに、デジタル放送番組の録画予約をすることができます。10

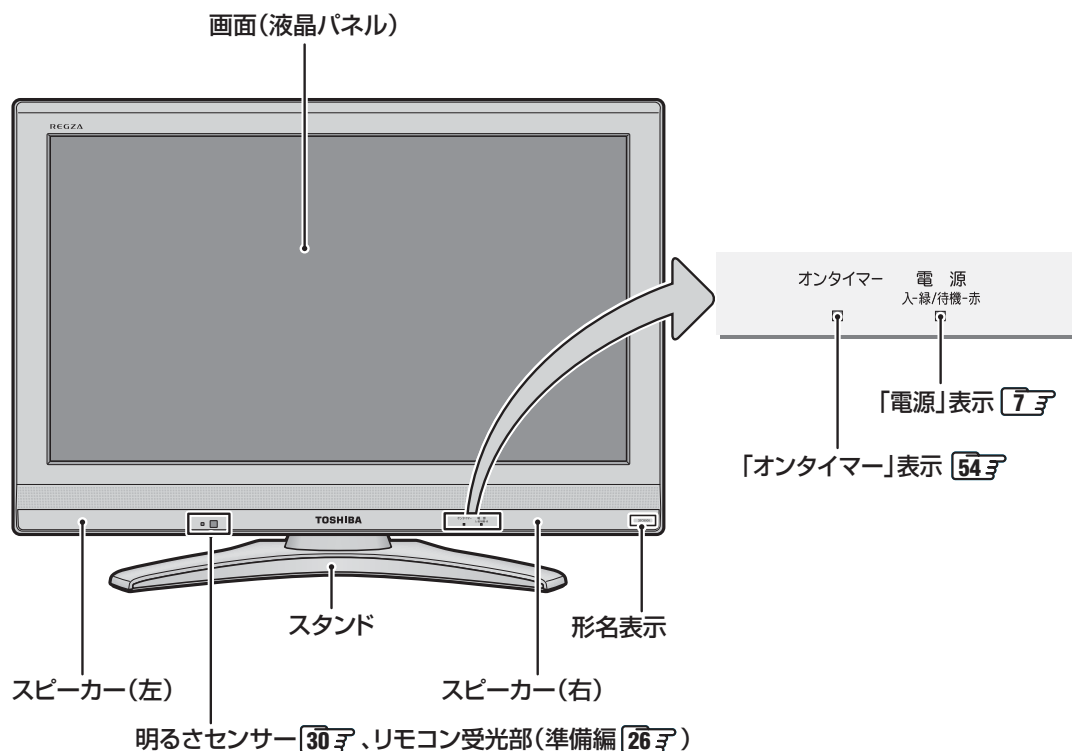
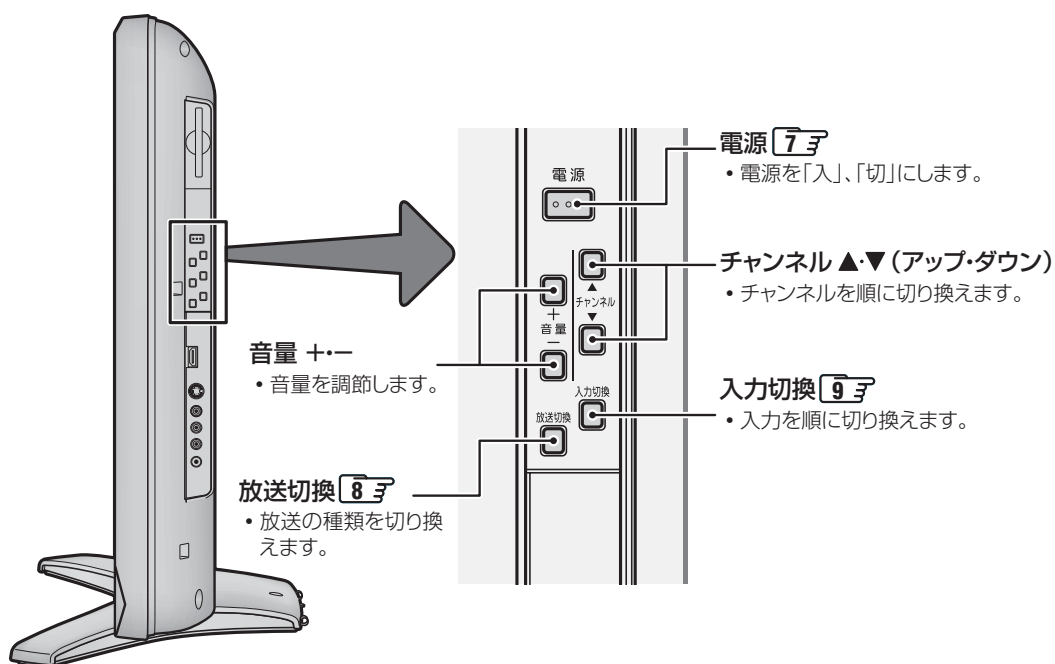
●ミニ番組表を使って、テレビ番組を見ながら、他の番組をチェックすることができます。11

オンタイマー搭載

●設定した時刻に、設定されたチャンネルと音量で、自動的に本機の電源を入れることができます。54
※オンタイマーを使用するには、デジタル放送やiNETサーバーから時刻情報を取得しておく必要があります。

各部のなまえ

- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは 内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています)

前面

右側面

リモコン操作ボタン

●イラストは、見やすくするために誇張、省略をしており、実際とは多少異なります。
●詳しくは ☞ 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

●電源入/切 ………………… 7

●ビデオやDVDなどを見る………… 9

●地上アナログ放送を見る………… 8
●地上デジタル放送を見る………… 8
●BSデジタル放送を見る………… 8
●CSデジタル放送を見る………… 8

●チャンネルを選局する………… 8
●文字を入力する ………………… 55

●チャンネルを順番に選局する……… 8
●番組情報を見る………………… 18
●音を消す………………………… 7
●クイックメニューを使う………… 7
●音量を調整する ………………… 7

●レグザリンクを使う………………… 40
●番組表を見る…………………… 10
●メニューを選択する
●選択したメニューを決定する
●一つ前の画面に戻る
●操作を中断･終了する
●カラーボタンで番組表を使う…… 13

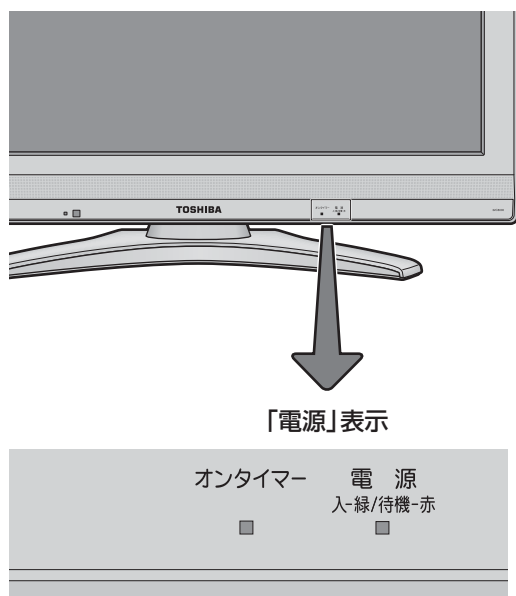
●データ放送を見る………………… 12
●映像を一時静止させる………… 22
●映像メニューを切り換える ……… 24
●音声を切り換える………………… 22

基本操作

電源を入れる

「電源」表示が消えているとき

❶ 本体右側面の 電源 を押す

「電源」表示が赤色に点灯しているとき（待機状態のとき）

❶ リモコンの 電源 を押す

「電源」表示

電源を切る

待機状態にする

❶ リモコンの 電源 を押す

- 「電源」表示が赤色に点灯します。

電源を切る

❶ 「電源」表示が赤または緑に点灯しているときに、本体右側面の 電源 を押す

音量を調整する

音量を調整する

❶ リモコンの 音量 または本体右側面の 音量 を押す

- ＋を押すと音が大きくなります。（最大100）
  －を押すと音が小さくなります。（最小0）

音を消す

❶ リモコンの 消音 を押す

- 画面右下に 消 音 が表示されます。
- もう一度押すと、音が出ます。

クイックメニューを使う

- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。以下の表は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴している場合のものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は薄く表示されます。

1 クイック を押す

2 ▲・▼で項目を選び、決定 を押す

3 選んだ項目に従って操作する

- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
番組説明			18
ミニ番組表			11
タイマー機能	オンタイマー		54
	オフタイマー		54
画面サイズ切換			19
映像設定			24 ～ 30 、準備編 69
音声設定			31 、準備編 40
お知らせ			57
その他の設定	信号切換	映像信号切換	23
		音声信号切換	23
		音多切換	22
		データ信号切換	23
		字幕切換	22
		降雨対応放送切換	57
	チャンネル番号入力		8
	HDMI 入力拡張切換		9
	アンテナレベル表示		準備編 30
	データ放送終了		12
	テレビ / ラジオ / データ切換		12
設定	機能設定	省エネ設定	56
		視聴制限設定	準備編 69
		外部入力設定	準備編 44
		音声出力／録画出力端子設定	準備編 46
	レグザリンク設定		準備編 35 など
	初期設定		準備編 50 など

テレビ放送を見る

1 地アナ、地デジ、BS、CSで放送の種類を選ぶ

● 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

● 以下の選局方法があります

■数字ボタンで選局する

1～12を押して選局します。

■チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

● チャンネル∧∨でチャンネルが順に切り換わります。（∧:アップ、∨:ダウン）

■チャンネル番号を入力して選局する

● デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。CATVを視聴中の場合には、この方法でCATVの選局もできます。

❶ クイックを押す

❷ ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

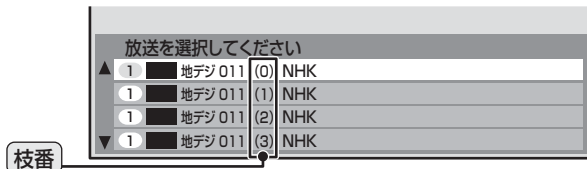
❸「チャンネル番号入力」を選び、決定を押す

❹ 1～10でチャンネル番号を入力する

● たとえば012チャンネルを選ぶ場合 ➡ 10 1 2の順に押す。（「0」は10で入力します）

● 入力した番号を消す場合は、◀を押します。

■枝番のついた放送一覧が表示されたとき

• ▲･▼で選んで決定を押すか、1～10で枝番を指定して選びます。

● 地上デジタル放送や地上アナログ放送で1～12で選局できるのは、「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネルです。
● 110度CSデジタル放送では、2にCSプロモーションチャンネルが設定されています。登録の変更や追加をする場合は、準備編63を参照して手動設定をしてください。
● 順次選局の場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。数字ボタンを繰り返し押すと、代表チャンネル以外のチャンネルも選べます。
● 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います（番号順にならない場合があります）。
● 視聴できるチャンネルは「はじめての設定」後、番組表10で確認することができます。
● お買い上げ直後や、お買い上げ時の状態に戻した（準備編71）直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
● 一部のチャンネルには受信契約が必要なものがあります。未契約のチャンネルを選ぶとメッセージが表示されます。
● 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信したときに表示されます。
● 本機はペイ・パー・ビュー（PPV）放送には対応していません。

ビデオ・DVDなどを見る

1 見たい機器の電源を入れ、機器がつないであるビデオ入力を 入力切換 で選ぶ

- 入力切換 を押すと、画面右上に入力端子一覧が表示され、入力切換 を押すたびに以下のように切り換わります。（切り換えてから映像が出るまでに少し時間がかかります）

放送 ➡ ビデオ1 ➡ ビデオ2 ➡ ビデオ3 ➡ HDMI 1 ➡ HDMI 2 ➡ HDMI 3 ➡ 放送

- 入力切換 を押し、入力端子一覧から▲·▼で切り換えたい入力を選び、決定 を押して切り換えることもできます。
- お買い上げ時は、ビデオ1 〜 3までは、何もつながれていない入力端子をスキップする設定になっています。
  ※「外部入力スキップ設定」（準備編 44）で変更することができます。
- HDMI1 〜 3については、「外部入力スキップ設定」で設定すると、使わない入力端子をスキップ（飛び越す）することができます。

2 選んだ機器を操作する

- HDMI連動機能対応機器の場合は、本機のリモコンで一部の操作ができます。

HDMI入力拡張切換

- HDMI入力端子を備えた機器を経由して、一つのHDMI入力端子に複数のHDMI連動機能対応機器を接続している場合は、使いたい機器を以下の手順で選びます。

1 入力切換 を押し、使いたい機器がつながれている入力を「HDMI1」、「HDMI2」、「HDMI3」から選ぶ

2 クイック を押し、▲·▼で「その他の操作」を選び 決定 を押す

3 ▲·▼で「HDMI入力拡張切換」を選び、決定 を押す

- HDMI接続機器一覧が表示されます。

「HDMI1」入力端子に接続されている機器であることを表しています。

- オンキヨー製AVシステムの場合は、機器一覧にHDMI連動機能対応機器だけでなく、AVシステムの端子名も表示されます。（何も接続されていない端子も表示されます）

※ 各HDMI端子に機器が一台しか接続されていない場合は、選択できません。

3 ▲·▼で操作したい機器を選び、決定 を押す

- 選んだ機器の電源がはいります。

※ AVシステムを選ぶことはできません。

4 選んだ機器を操作する

- HDMI連動機能対応機器の場合は、本機のリモコンで一部の操作ができます。42

テレビを見る

- 本体の入力切換ボタンは、リモコンの 入力切換 と同じ働きをします。
- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。（準備編 44「外部入力表示設定」）
- お買い上げ時は、ビデオ3を選ぶとゲームに適した画質と画面サイズになるように設定されています。ビデオなどをつないで使うときは、ビデオ3を選んでから クイック を押して、「映像設定」24 の「映像メニュー」から「ゲーム」以外を選んでください。

見たい番組を選ぶ

番組表で選ぶ

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- 地上アナログ放送の番組表は表示されません。
- **お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。**
- **デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上待機状態にすることをおすすめします。**

1 番組表 を押す

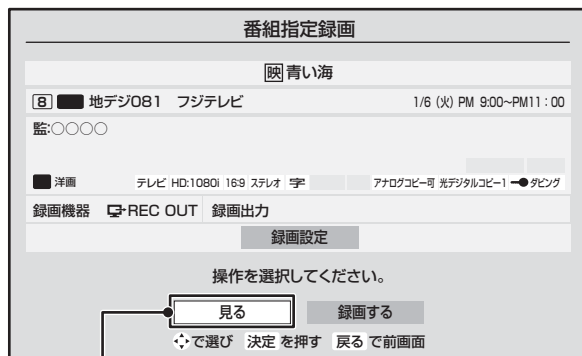
- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSのどれかを押します。
  ラジオやデータ放送の番組表を見るときは、「ラジオ、独立データ放送を楽しむ」12 の操作で選びます。

2 ▲·▼·◀·▶で現在放送中の番組を選ぶ

- 選んだ番組の説明を見るには、黄を押します。

3 決定 を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます
- これから放送される番組を選んだときは、予約設定の画面になります。36 手順 3 以降をご覧ください。

4 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定 を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

[番組表画面:7チャンネル表示の例]

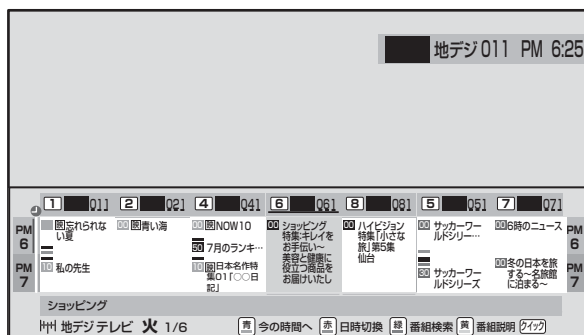
※アイコンについての説明は、59をご覧ください。

- 番組表は前回表示した日付と時間帯の部分が表示されます。(前回の表示日時を過ぎている場合は、今の日時で表示されます)
- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組情報の取得」15 をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 番組表画面で予約済み番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取消などができます。38
- 東芝RDデジタル(テレビdeナビ)とレグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。

ミニ番組表で選ぶ

● 2時間分の番組表で番組を選べます。

1 番組表を続けて2回押す

● ミニ番組表が表示されます。
● 以下の操作でも表示できます。
① クイックを押す
② ▲･▼で「ミニ番組表」を選び、決定を押す

● 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CSのどれかを押します。
ラジオやデータ放送の番組表を見るときは、「ラジオ、独立データ放送を楽しむ」12 の操作で選びます。
● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビのみ）では、クイックを押して、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1CH表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換ができます。15
※ 番組表もここで選んだ表示モードに切り換わります。

2 ▲･▼･◀･▶で番組を選ぶ

● 選んだ番組の説明を見るには、黄を押します。

3 決定を押す

●「番組指定録画」画面が表示されます。
● これから放送される番組を選んだときは、予約設定の画面になります。36 手順 **3** 以降をご覧ください。

4 ▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、決定を押す

● 選んだ番組の放送画面になります。

テレビを見る

● 番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

ラジオやデータ放送を楽しむ

● デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、ラジオ放送とデータ放送があります。（地上アナログ放送にはラジオ放送やデータ放送はありません）

■ **データ放送**

● 便利な情報やさまざまなニュースを見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスを楽しんだりできます。データ放送には以下の2種類があります。操作のしかたは番組によって異なります。画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

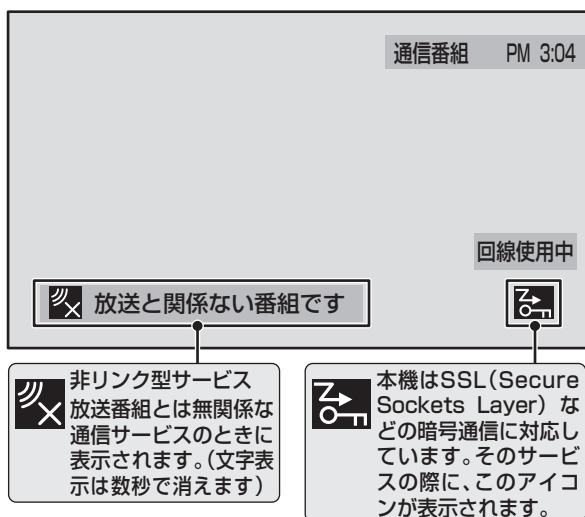
◆ **独立データ放送**

• 番組とは無関係の独立したデータ放送です。

◆ **番組連動データ放送**

• テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送です。

■ **地上デジタル放送の双方向サービスについて**

● 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。

■ **ラジオ放送**

● BSデジタル放送と110度CSデジタル放送にはラジオ放送があります。

● 放送内容に連動して画像が楽しめるものと、音声のみのラジオ放送があり、番組によっては音楽CD並みの高音質を楽しむことができます。

ラジオ、独立データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「テレビ／ラジオ／データ切換」を選び、決定を押す

4 切り換えたい項目（「テレビ」「ラジオ」「データ」）を▲·▼で選び、決定を押す

● チャンネルで他のチャンネルに切り換えられます。

● チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。8

● ラジオ、データ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

番組連動データ放送を楽しむ

1 デジタル放送を見ているときに画面表示を押す

● テレビd、ラジオdが表示された場合、データ放送があります。

2 dデータを押す

● 番組によっては押す必要がない場合があります。

● 画面に表示される操作指示に従って操作をしてください。

3 データ放送を終了するには、以下の操作をする

❶ クイックを押す

❷ ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で「データ放送終了」を選び、決定を押す

■ **双方向サービスについて**

● 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。

● 画面の操作指示で、dデータは「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。

● 本体の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。

● 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ電話回線やLAN端子の接続と設定（準備編 47）をしてください。また、双方向サービス利用に必要な登録の申込をしてください。

● インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。

● 双方向サービスの通信中は、画面上に「回線使用中」アイコンが表示され、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。

● 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。

● 本機からの録画中は、データ放送には切り換えられません。

● テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

● 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

番組表を便利に使う

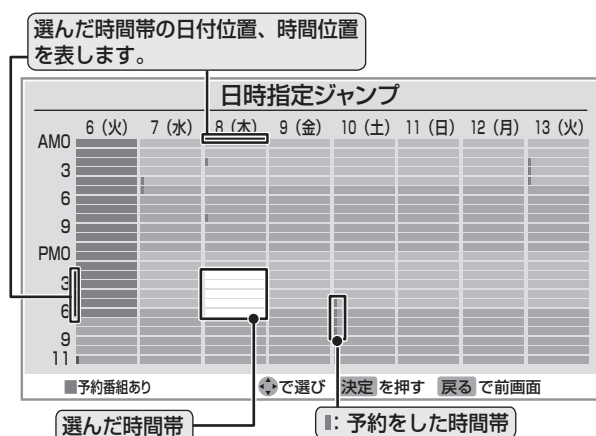
今の時間帯の番組表を表示する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、青を押す

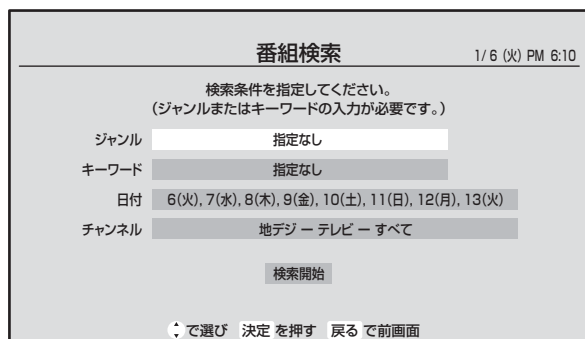
指定した日時の番組表を見る

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、赤を押す

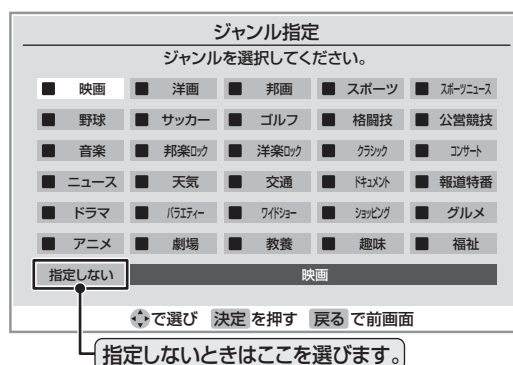
2 ▲·▼·◀·▶で日時を選び、決定を押す

- 選んだ時間帯の番組表が表示されます。

ジャンルやキーワードを指定して番組を検索する

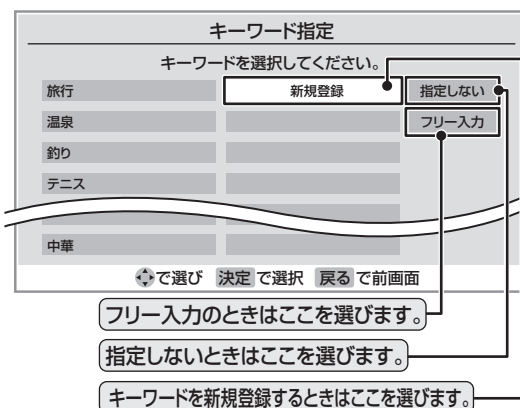
1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、緑を押す

2 ▲·▼で「ジャンル」または「キーワード」を選び、決定を押す

- 「ジャンル」、「キーワード」のどちらかは、必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するときは以下の操作をする

❶ 指定するジャンルを一つ選び、決定を押す

「キーワード」を指定するときは以下の操作をする

❶ 指定するキーワードを一つ選び、決定を押す

- 一覧表にない項目を指定するときは、「フリー入力」を選び、決定を押します。文字入力のしかたは、55 をご覧ください。
- よく使うキーワードを登録することもできます。

キーワードを登録する場合

① 「キーワード指定」画面で▲·▼で「新規登録」を選び、決定を押す

② 登録したいキーワードを入力して、決定を押す

- 文字入力のしかたは、23 をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。
- 一つのキーワードは全角15文字まで入力できます。

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

テレビを見る

番組表を便利に使う つづき

キーワードを編集する場合

① 編集したいキーワードを選び、青を押す

② キーワードを編集し、決定を押す

キーワードを削除する場合

① 削除したいキーワードを選び、赤を押す

② ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

キーワードを登録する場合

①「キーワード指定画面」で▲·▼で「新規登録」を選び、決定を押す

② 登録したいキーワードを入力して、決定を押す

- 文字入力のしかたは 55 をご覧ください。
- キーワードは14個まで登録できます。
- 一つのキーワードは全角15文字まで入力できます。

「日付」を指定するときは以下の操作をする

❶「番組検索」画面で、▲·▼で「日付」を選び、決定を押す

❷ 指定する日付を▲·▼·◀·▶で選び、決定を押す

- 決定を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。
- 8日先まで指定できます。

❸ すべての指定が終わったら、▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定を押す

「チャンネル」を指定するときは以下の操作をする

❶「番組検索」画面で、▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押してチャンネル指定画面にする

❷ ◀·▶で指定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類：
  すべて／BS／CS／地デジ
- 放送メディア：
  すべて／テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ
- チャンネル：
  指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル／すべて

❸ 指定が終わったら、決定を押す

3 ▲·▼で「検索開始」を選び、決定を押す

4 「番組検索結果」画面から見たい番組を▲·▼で選び、決定を押す

- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、予約設定の画面になります。36 手順 4 以降をご覧ください。

5 ▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定を押す

- 選んだ番組の放送画面になります。

番組情報を見る

1 番組を選び、黄 を押す

文字サイズを変更する

- 番組表に表示される文字の大きさを変えます。
  ※お買い上げ時は、「小さく」に設定されています。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「文字サイズ変更」を選び、決定 を押す

3 希望の文字サイズを▲･▼で選び、決定 を押す

番組表を更新する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組情報の取得」を選び、決定 を押す

- 情報の取得が始まります。
  ※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。
  ※ 本機からの録画中は情報の取得ができません
- BSデジタル放送の番組表の場合は番組表全体が更新されます。
- 110度CSデジタル放送の場合は、選択中の番組が含まれているネットワークの番組表全体が更新されます。
- 地上デジタル放送の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
  ※ 情報取得を中止するときは、番組情報取得中にクイックを押し、▲･▼で「番組情報の取得中止」を選び、決定を押します。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。

番組記号の説明を見る

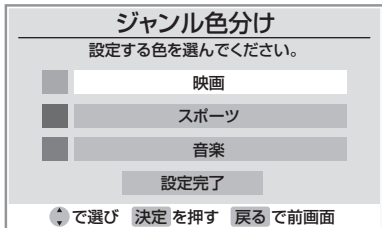
1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「番組記号一覧」を選び、決定 を押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、決定を押します。

表示切換をする(1CH表示/マルチ表示)

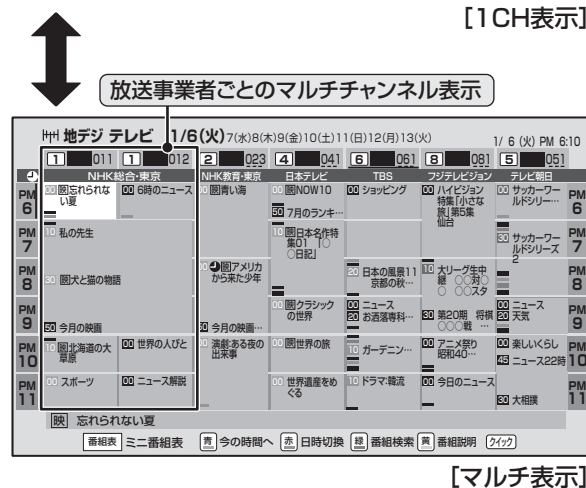
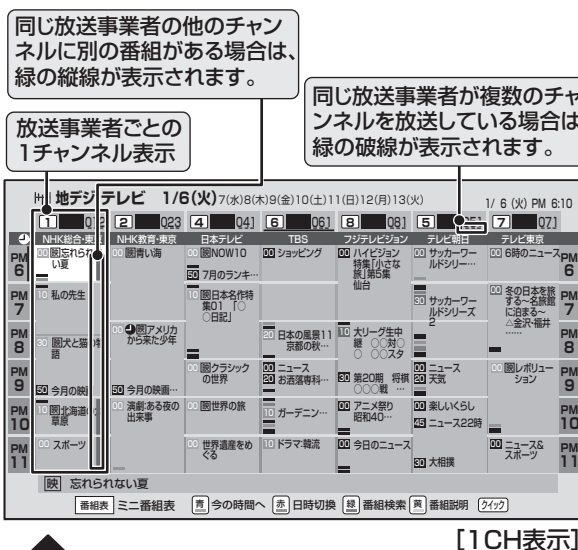
1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「1CH表示」、「マルチ表示」のどちらかを選び、決定 を押す

- メニューに表示される項目は、現在の番組表の表示によって変わります。
- 「1CH表示」と「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

[1CH表示]

放送事業者ごとのマルチチャンネル表示

[マルチ表示]

テレビを見る

番組表を便利に使う つづき

ジャンルの色分けを変更する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「ジャンル色分け」を選び、決定を押す

3 設定する色を▲･▼で選び、決定を押す

4 ▲･▼･◀･▶でジャンルを選び、決定を押す

●「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

5 ▲･▼で「設定完了」を選び、決定を押す

表示させるチャンネル数を設定する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「チャンネル表示数設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「7チャンネル表示」、「6チャンネル表示」のどちらかを選び、決定を押す

スキップチャンネル表示/非表示を設定する

● 「チャンネルスキップ設定」(準備編 64)で「スキップ」に設定したチャンネルを番組表に表示させる設定をします。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「スキップチャンネル表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

番組説明の表示/非表示を設定する

● 番組表の詳しい番組説明を表示させる設定をします。

1 番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「番組説明表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定を押す

番組表の明るさを設定する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲･▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「番組表明るさ設定」を選び、決定を押す

4 ▲･▼で「明るい」、「標準」のどちらかを選び、決定を押す

■ スキップチャンネル表示設定について
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通です。

■ ジャンル色分けの変更について
- 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。
- 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
- この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通の設定になります。

放送局の表示位置を設定する

● 番組表内の放送局の表示位置を設定します。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「地デジ表示設定」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「視聴チャンネル中央表示」、「チャンネル順優先表示」のどちらかを選び、決定を押す

● 「視聴チャンネル中央表示」を選ぶと、視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
「チャンネル順優先表示」を選ぶと、お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。
最後に視聴していた番組の番組表を表示させるために、先頭チャンネル側の番組表が表示されないことがあります。

テレビ/ラジオ/データの表示切換をする

● 番組表に表示するメディアを切り換えます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

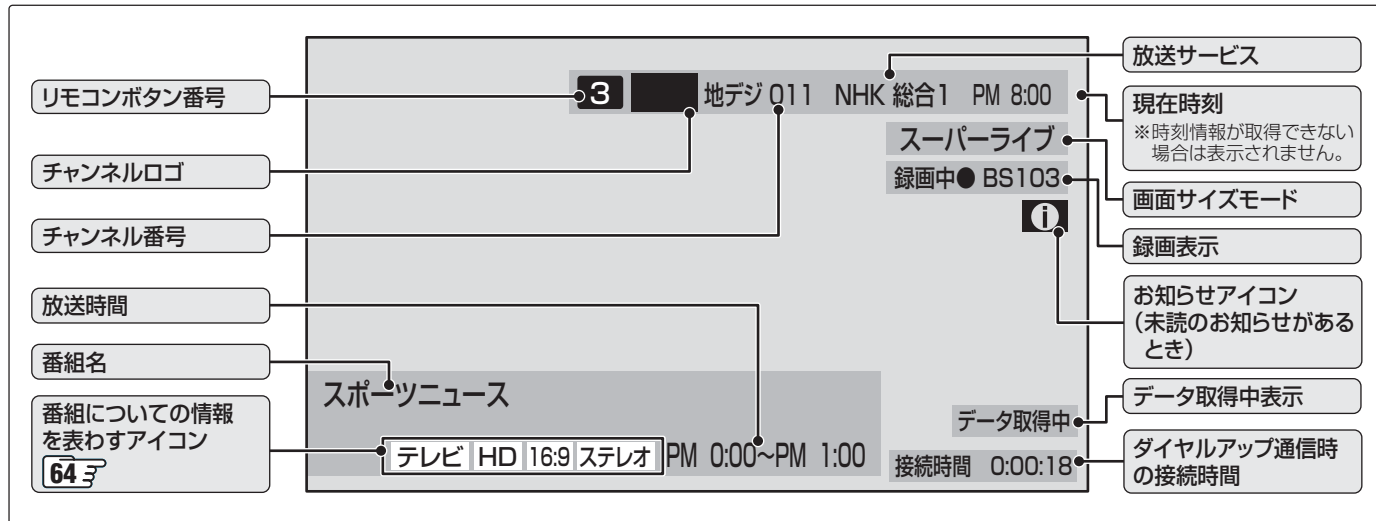
3 ▲·▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」のどれかを選び、決定を押す

番組の情報を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

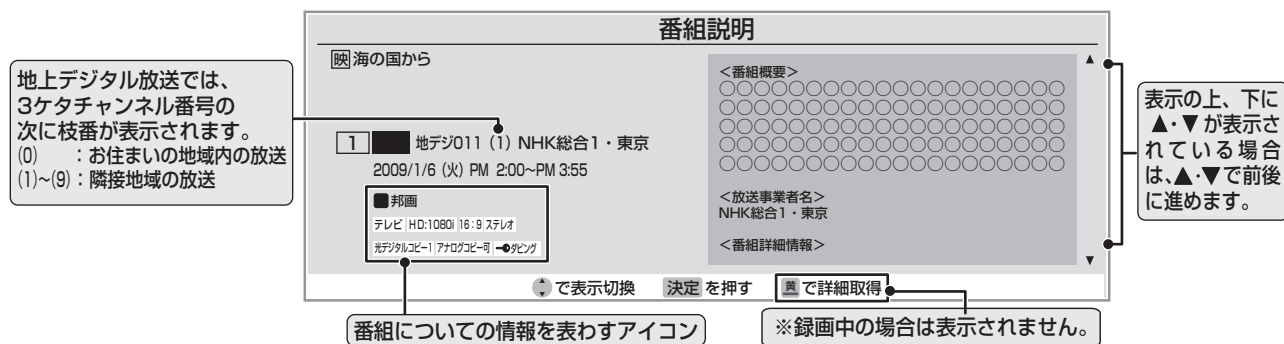
- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒後にチャンネル以外の表示は消えます)
- すべての表示を消すには、もう一度画面表示を押してください。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。

番組説明を見る

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「番組説明」を選び、決定を押す

3 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
- 情報が取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

4 説明画面を消すには、決定を押す

- 画面に表示されるアイコンについての説明は、「アイコン一覧」64 をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

画面サイズを調整する

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 クイックを押す

2 ▲･▼で「画面サイズ切換」を選び、決定を押す

3 ▲･▼でお好みの画面サイズを選び、決定を押す

● 押すたびに以下のように切り換わります。(映像の種類によって、選べる画面サイズが異なります)
● 各モードの説明は、次ページをご覧ください。

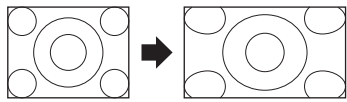
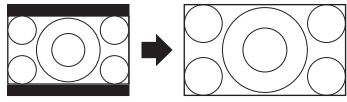
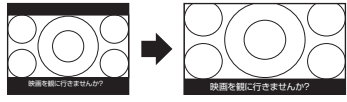
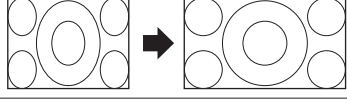
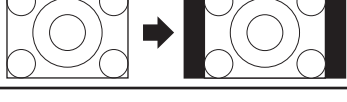
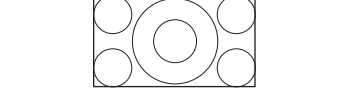
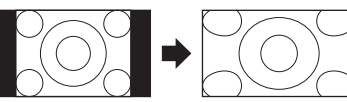
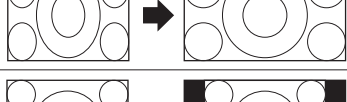
放送やビデオ入力端子からの映像見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、デジタル放送の4：3の映像、ビデオ入力端子(480iと480pのみ)	スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル → ノーマル（→ スーパーライブへ戻る）
デジタル放送の16：9の映像	フル → HDスーパーライブ → HDズーム（→ フルへ戻る） • 画面サイズを変更した番組の放送中は選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。
D4映像入力端子からのハイビジョン映像	フル → ノーマル → HDスーパーライブ → HDズーム（→ フルへ戻る） • 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
480i、480p	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → 映画字幕 → フル（→ ノーマルへ戻る）
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル → Dot By Dot → スーパーライブ → ズーム → フル（→ ノーマルへ戻る）
720p、1080i、1080p、WXGA※	ノーマル → Dot By Dot → HDスーパーライブ → HDズーム → フル（→ ノーマルへ戻る）

※ 信号フォーマットについての説明は 65 をご覧ください

ゲームモードに切り換えたとき

		選べる画面サイズ
入力切換を外部入力(「ビデオ1～3」、「HDMI1～3」)にして、映像メニュー 24 を「ゲーム」に設定している場合	ビデオ入力のとき	ゲームノーマル → ゲームフル（→ ゲームノーマルへ戻る）
	HDMI 入力のとき	ゲームフル → ゲームノーマル → Dot By Dot（→ ゲームフルへ戻る）

● 32C8000では、以下のようになります。
• 「SXGA」、「1080i」、「1080p」を表示しているときに「Dot By Dot」は選べません。
• 「WXGA」を表示しているときに「ノーマル」、「ゲームノーマル」は選べません。

画面サイズを調整する つづき

画面の見えかたについて

	画像サイズのモード	画面の見えかた	説　　明
SD	スーパーライブ		4：3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム		上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。上下に黒い部分が出ることがあります。
	映画字幕	映画を観に行きませんか? → 映画を観に行きませんか?	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。上に黒い部分が出ることがあります。
	フル		DVD などのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4：3の映像をそのままの横と縦の比で表示します。
HD	フル		16：9の映像を画面内にすべて表示するモードです。 映像の信号によっては、周囲の映像が少し画面の外に隠れる場合があります。 ※「スキャン切換」21 で画面に表示する情報量を変更することができます。
	HDスーパーライブ		左右に帯のある16：9の映像をワイド画面で楽しむモードです。 画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム		上下左右に帯のある16：9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
共通	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま、画面に表示します。映像のない部分には黒い部分ができます。（イラストはSVGAの例です）
	ゲームフル		ゲームの画像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示します。
	ゲームノーマル		ゲームの映像をそのままの横と縦の比で表示します。

※「HDスーパーライブ」と「HDズーム」は、デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16：9の映像で切り換えることができます。この機能は画面サイズを切り換える機能であり、放送フォーマットを変換する機能ではありません。

- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組などのソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像でない従来（通常）の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示して見ると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）で見られます。
- 本機のS2映像端子とD4映像端子では、スクイーズ映像と4：3映像時のレターボックス映像を識別できます。これらの映像の視聴時には画面サイズが自動的に「フル」や「ズーム」に切り換わります。お好みで切り換えることもできます。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組合せによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選んだ場合に、枠がずれて表示されることがあります。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどをすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

画面のスキャンモードを設定する

● 「画面サイズ切換」で「フル」「ゲームフル」または「ノーマル」「ゲームノーマル」を選んだときの画面サイズを、常に「オーバースキャン」または、「ジャストスキャン」に設定することができます。
※ 映像の種類によっては、設定できないことがあります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「スキャン切換」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ジャストスキャン」または「オーバースキャン」を選び、決定を押す

- **ジャストスキャン**……16：9の映像を画面内にすべて表示します。
- **オーバースキャン**……16：9の映像を少し大きめに表示します。

● 設定が終わったら、終了を押します。

画面の表示領域を調整する

● 画面サイズを「フル」または「ノーマル」を選んだときに、画面に表示する映像の範囲を設定します。
● 「スキャン切換」で「オーバースキャン」を選んでいるときにだけ設定できます。
● 映像の周りの黒いフチやチラツキが気になる場合に、調整してください。
※ 映像の種類によっては、調整できないことがあります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「オーバーサイズ調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で希望の設定を選び、決定を押す

- **－１**…… 映像を通常よりも少し大きめに表示するため、周囲の映像が画面の外に隠れることがあります。
- **－２**…… 「－１」よりも、さらに大きめに表示するモードです。

● 設定が終わったら、終了を押します。

画面の位置や幅を調整する

● 画面右下に表示されている「放送/端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。
※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。
※ パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側とで設定した情報が一致しない場合があります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「画面調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で調整したい項目を選び、決定を押す

- **上下振幅調整**…… 映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**…… 映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**…… 映像の横のサイズを調整します。

5 ◀·▶でお好みの状態に調整し、決定を押す

● 上下振幅調整と左右振幅調整は－03～＋03、上下の表示位置は－10～＋10の範囲で調整できます。
● 調整画面では◀·▶を押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。

画面調整をお買い上げ時の状態に戻す

1 上記の手順 **4** で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

便利な機能を使う

映像を一時静止させる

1 静止 を押す

- 解除するときは 静止 をもう一度押します。

※ 一時静止中でも音声は流れ続けます。

字幕を見る

- 「字幕オン」に設定すると、字幕放送になったときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ(字幕を表示しない)」に設定されています。
- 字幕放送番組は、番組説明画面 18 に 字 のアイコンが表示されます。(一部、表示と実際の放送が一致しない場合があります)
- 地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼ で「字幕切換」を選ぶ

5 「字幕オフ」または「字幕オン」を ▲·▼ で選び、決定 を押す

- 番組によっては、「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」、「英語字幕」または「字幕1」、「字幕2」などと表示され、字幕の言語を選べることがあります。

音声を切り換える

- 複数の音声信号が放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面 18 に 信号切換 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 押すたびに以下のように切り換わります。

二重音声を切り換える

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組情報画面 18 に 二重音声 のアイコンが表示されます。

1 音声切換 を押す

- 押すたびに以下のように切り換わります。

(例：音声多重番組で、主音声が日本語、副音声が英語の場合)

主音声		副音声		主音声：副音声	
主音声		副音声		主：副	
(左)	(右)	(左)	(右)	(左)	(右)
日本語	日本語	英語	英語	日本語	英語

お知らせ

■ 映像の一時静止について
- ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
- 本機からの録画中は静止画にすることはできません。
- 静止中は、字幕は表示されません。
- 静止中は、データ放送の操作はできません。
- 選局操作をすると、静止画面を終了して、通常の画面になります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

■ 字幕について
- 本機の録画出力端子から字幕は出力されません。
- 字幕を表示中に一部の操作をすると、字幕が消えます。通常画面に戻ると、再び字幕が表示されます。

映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
● 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に信号切換のアイコンが表示されます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定を押す

4 切り換えたい項目(「映像信号切換」、「音声信号切換」、「音多切換」、「データ信号切換」)を▲·▼で選び、決定を押す

5 視聴したい映像、音声、データを▲·▼で選び、決定を押す

● 「音声信号切換」、「音多切換」は、音声切換を押して切り換えることもできます。

● 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。(基本の信号を選択した状態になります)
● 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。(これをマルチビューサービスといいます)

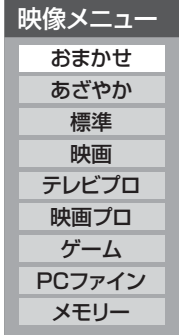
お好みの映像を選ぶ

● 映像メニューは、入力端子ごとに記憶させることができます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定を押す

4 ▲·▼でお好みの映像を選び、決定を押す

● 「映画プロ」を選んだ場合は、▲·▼で「映画プロ1」、「映画プロ2」のどちらかを選び、決定を押してください。

● 終わったら、終了を押します。

映像メニュー
おまかせ
あざやか
標準
映画
テレビプロ
映画プロ
ゲーム
PCファイン
メモリー

映像メニュー	内　容
おまかせ	周囲の明るさと見ている映像に合わせて、最適な画質で表示されます
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき（日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむとき（暖かみのある色あいを再現します）
テレビプロ	テレビ番組を見るのに適した設定です（お好みに合わせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）
映画プロ1、2	映画を見るのに適した設定です（お好みに合わせて、さらに細かな調整を記憶させることができます）
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視し、ゲームをするのに適した画質設定です（入力切換を「ビデオ1」～「ビデオ3」、「HDMI1」～「HDMI3」に切り換えているときに選べます）
PCファイン	パソコンの画面を表示するのに適した設定です（入力切換を「HDMI1」～「HDMI3」のどれかに切り換えているときに選べます）
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき

※ 「おまかせ」、「メモリー」、「テレビプロ」、「映画プロ1、2」、「ゲーム」、「PCファイン」には、お好みで調整した結果が記憶されます。（次ページをご覧ください）

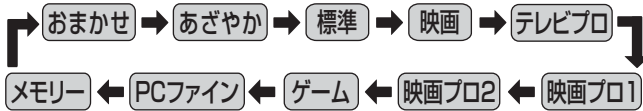
「おまかせ映像」について

● おまかせ映像を押すと、映像メニューを切り換えたり、一部の映像調整項目をカラーボタンで表示することができます。

1 おまかせ映像を押す

● 押すたびに「映像メニュー」が以下のように切り換わります。

おまかせ → あざやか → 標準 → 映画 → テレビプロ → 映画プロ1 → 映画プロ2 → ゲーム → PCファイン → メモリー → おまかせ

おまかせ　青 お好み調整　赤 明るさ調整　緑 ヒストグラム表示

2 カラーボタンを押す

● 以下の操作ができます。

ボタン操作	表示される内容	説　明	詳しい説明
青	お好み調整（映像調整）	より細かく映像を調整をすることができます。※「映像メニュー」を「おまかせ」以外に設定しているときは、「お好み調整」は「映像調整」に換わります。	25
赤	明るさ調整	画面の明るさを、お好みで調整できます。※「明るさセンサー」を「オフ」に設定している場合は表示されません。（「おまかせ」を除く）	30
緑	ヒストグラム表示	画面に映像のヒストグラムを表示させます。	31

● クイックを押して「映像設定」から選ぶこともできます。

お好みの映像に調整する

● 映像メニューが「おまかせ」、「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」のときに調整した場合、調整した結果がそれぞれの映像メニューに記憶されます。それ以外を選んだ場合は、調整した結果が映像メニューの「メモリー」に記憶され、映像メニューが「メモリー」に切り換わります。
● お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

● 「映像メニュー」で「おまかせ」以外を選んだ場合は、「映像調整」と表示されます。

「映像メニュー」が「おまかせ」の場合

お好み調整	
黒レベル	00
色の濃さ	00
色あい	00
シャープネス	00
明るさ調整	→
詳細調整	→
初期設定に戻す	→

「映像メニュー」が「おまかせ」以外の場合

映像調整	
ユニカラー	100
黒レベル	00
色の濃さ	00
色あい	00
シャープネス	00
明るさ調整	→
詳細調整	→
初期設定に戻す	→

4 ▲·▼で調整したい項目を選び、決定を押す

5 ◀·▶でお好みの映像に調整し、決定を押す

● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。
● 決定を押さずに▲·▼で調整項目を切り換えることもできます。

調整項目	内　容	◀·▶を押したとき
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さを同時に調整します。	00　～　100 淡くなる⇔濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。(黒髪などを見やすくします)	−50　～　+50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整します。	−50　～　+50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	色あいを調整します。(肌の色に注目して調整します)	−50　～　+50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
シャープネス	映像の鮮明さを調整します。	−50　～　+50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる
明るさ調整	「明るさセンサー」で自動調整するときの画面の明るさを調整します。「明るさセンサー」が「オン」に設定されているときにときに表示されます。	調整方法は 30 をご覧ください。
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。「明るさセンサー」が「オフ」に設定されているときに表示されます。	00　～　100 暗くなる⇔明るくなる
詳細調整	映像をさらに細かく調整します。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。	――――

映像・音声設定をする

お好みの映像に調整する つづき

映像をより細かく調整する(詳細調整)

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

- 「映像メニュー」で「おまかせ」以外を選んだ場合は、「映像調整」と表示されます。

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

カラーイメージコントロール	オン
ベースカラー調整	→
ノイズリダクション設定	→
ヒストグラムバックライト制御	オン
モーションクリア	オン
オートファインシネマ	オフ
色温度	00
ダイナミックガンマ	10
ガンマ調整	00
Vエンハンサー	強
詳細調整	

5 ▲·▼で調整項目を選び、決定を押す

- 調整項目の詳しい内容は、下表をご覧ください。

6 ◀·▶または▲·▼でお好みの映像に調整し、決定を押す

- 数字の調整項目は、◀·▶で調整します。それ以外は▲·▼でレベルを選び、決定を押してください。
- いくつもの項目を設定する場合は、手順 **5**、**6** を繰り返してください。
- 調整が終わったら、終了を押します。
- 色温度調整を選んだ場合は、以下の操作をしてください。
  ❶ ◀·▶で「0 ～ 10」の数値を選び、決定を押す。
  ❷ ▲·▼でGドライブまたはBドライブを選び、◀·▶で調整してください。
- 「カラーイメージコントロール」、「ベースカラー調整」は次ページ、「ノイズリダクション設定」、「ヒストグラムバックライト制御」は28を、「オートファインシネマ」は29をご覧ください。

調整内容	詳細調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度	通常時	0～10	色調を調整します。 数字が小さくなるほど暖色系、数字が大きくなるほど寒色系になります。
		おまかせ時	－5～00～+5	
	色温度	Gドライブ(緑)※1	－15～00～+15	明るい部分の色温度を微調整します。「＋」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ(青)※1	－15～00～+15	
階調の調整 映像の明部と暗部のコントラストのバランスを細かく調整します。	ダイナミックガンマ	通常時	0～10	それぞれのシーンに最適な階調を調整し、調整レベルが大きくなるとメリハリ感が強調されます。
		おまかせ時	－5～00～+5	
	ガンマ調整	通常時	－4～00～+4	映像の明部と暗部のコントラストのバランスを補正します。「＋」方向で画面全体が明るくなります。
		おまかせ時	－5～00～+5	
輪郭の調整 映像の輪郭などを強調したり弱めたりすることができます。	Vエンハンサー※2 (垂直輪郭補正)	通常時	「強」「中」「弱」「オフ」	横線の輪郭を補正します。調整レベルが大きくなると輪郭が強調されます。
		おまかせ時	－5～00～+5	

※1「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときに設定できます。
※2「映像メニュー」が「PCファイン」のときは調整できません。

カラー調整

カラーイメージコントロール

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「カラーイメージコントロール」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

ベースカラー調整

- 「カラーイメージコントロール」が「オン」のときに設定できます。(お買い上げ時は「オン」に設定されています)
- レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整できます。
- ベースカラーの調整範囲は－15～＋15です。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ベースカラー調整」を選び、決定を押す

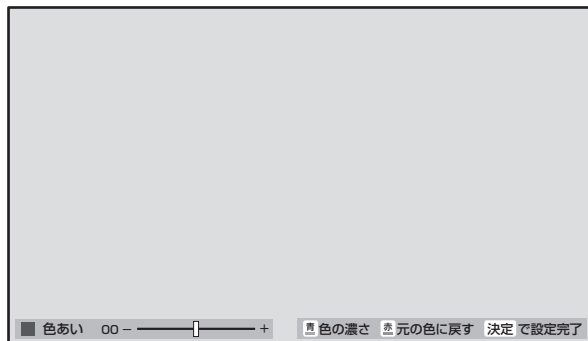
6 調整したい色を▲·▼で選び、決定を押す

ベースカラー調整

	色あい	色の濃さ
レッド	00	00
グリーン	00	+04
ブルー	00	+04
イエロー	00	00
マゼンダ	00	00
シアン	00	00
初期設定に戻す		

7 以下の操作でお好みの色に調整する

① ◀·▶で「色あい」を調整する

※ 調整中に元の色(初期状態)に戻すには、赤を押します。

② 青を押し、◀·▶で「色の濃さ」を調整する

※ 調整中に元の色(初期状態)に戻すには、赤を押します。

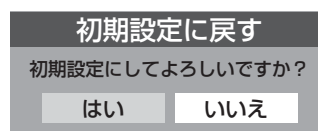
③ 選んだ色の調整が終わったら、決定を押す

- いくつもの色を調整する場合は、手順 **6**、**7** を繰り返します

8 調整が終わったら、終了を押す

ベースカラー調整をお買い上げ時の設定に戻す

1 上記の手順 **6** で「初期設定に戻す」を選び、決定を押す

2 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

- ベースカラーの調整範囲は－15～＋15です。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、ベースカラー調整を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

ノイズリダクション

● 映像のノイズやざらつきを減らします。
※「映像メニュー」が「ゲーム」のときは、設定できません。
※ HDMI入力でPC信号フォーマットを表示しているときは、設定できません。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ノイズリダクション設定」を選び、決定を押す

6 設定したい項目を▲·▼で選び、決定を押す

MPEG NR	弱
ダイナミックNR	オート
ノイズリダクション設定	

7 ▲·▼でお好みの設定を選び、決定を押す

● 別の項目を設定する場合は、手順 **6**、**7** を繰り返します。

設定項目	設定レベル	映像状態
MPEG NR（エムペグ）	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」	デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像の、ブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を減らす機能と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。 ※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。 ※「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されているときにだけ選べます。
ダイナミックNR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」	画像のざらつきノイズやちらつきを減らす機能です。 ※ 強くかけると残像が気になる場合があります。 通常は「オート」に設定してください。

ヒストグラムバックライト制御

● 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「ヒストグラムバックライト制御」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

モーションクリア

● 動きの速い映像で生じるブレや、ぼやけを減らすことができます。
※「映像メニュー」が「ゲーム」のときは、設定できません。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「モーションクリア」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 設定が終わったら、終了を押します。

オートファインシネマ設定

● 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「お好み調整」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「詳細調整」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「オートファインシネマ」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「5 - 5フィルムモード」、「スムーズモード」、「オフ」のどれかを選び、決定を押す

- **5 - 5フィルムモード** ‥ 映画などのフィルム映像を、原画に近い映像で再現します。
- **スムーズモード** ‥‥‥‥ 映画などのフィルム映像を、原画よりもなめらかな映像で再現します。
- **オフ**‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥ 特別な処理をせずに、そのままの映像を表示します。

● 設定が終わったら、終了を押します。
※「映像メニュー」24で「おまかせ」を選んだ場合は、「おまかせ」と表示されます。

● 「5- 5フィルムモード」、「スムーズモード」を選んだときに映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

明るさ調整

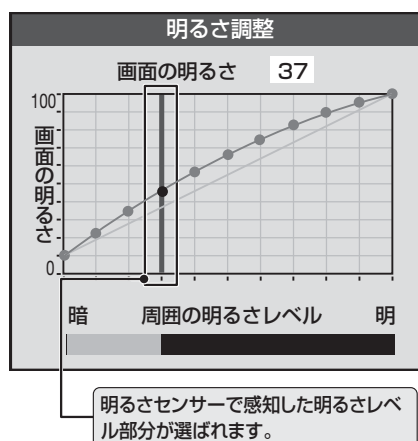
● 部屋の明るさに応じた画面の明るさを調整することができます。

1 おまかせ映像を押し、赤を押す

2 決定を押し、◀･▶で明るさを変えたいレベルを選ぶ

3 ▲･▼で画面の明るさを調整し、決定を押す

● 青を押すと、調整前のレベルに戻ります。
● 赤を押すと、お買い上げ時に戻ります。

● 明るさセンサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。明るさセンサーが正しく動作しなくなることがあります。
明るさセンサーの位置は 5 をご覧ください。

明るさセンサー

● 周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。
※「映像メニュー」が「おまかせ」のときは、「オフ」に設定することはできません。

1 クイックを押す

2 ▲･▼で「映像設定」を選び、決定を押す

3 ▲･▼で「明るさセンサー」を選び、決定を押す

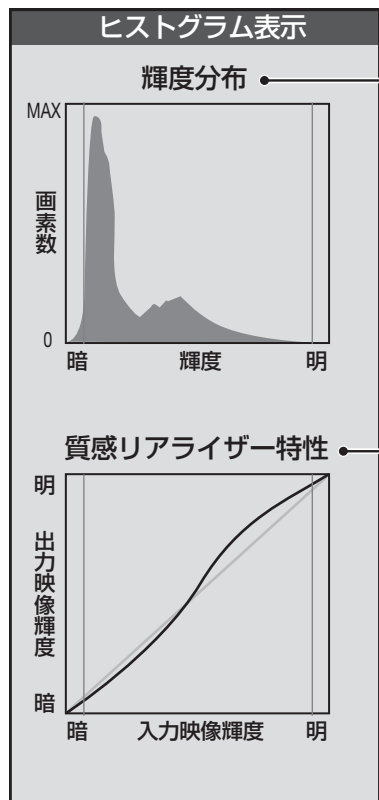
4 ▲･▼で「オン」または「オフ」を選び、決定を押す

● 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。

ヒストグラム表示

● 映像のヒストグラムを表示します。

1 おまかせ映像を押し、緑を押す

● 表示を消すには、終了を押します。

お好みの音声に調整する

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「音声設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「音声調整」を選び、決定を押す

4 調整する項目を▲·▼で選び、決定を押す

● 調整項目の内容は下表のとおりです。

5 ◀·▶または、▲·▼でお好みの音声に調整し、決定を押す

● 「バランス」、「高音」、「低音」の調整画面では、◀·▶を押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。

● いくつもの項目を調整する場合は、手順 **4**、**5** を繰り返してください。

● 調整が終わったら、終了を押します。

調整項目	◀·▶を押したとき
バランス	左 50 ～ 右 50 左の音が強調される　右の音が強調される
高音	－50 ～ ＋50 高音が軽減される　高音が強調される
低音	－50 ～ ＋50 低音が軽減される　低音が強調される

調整項目	▲·▼を押したとき
高音強調	ドラマのセリフや楽器の音の輪郭を明りょうにして聞きやすくします。 オン ⟷ オフ
低音強調	豊かな低音を再生します。 (2段階で強調の設定ができます) 強 ⟷ 弱 ⟷ オフ
サラウンド	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。 オン ⟷ オフ

● D4映像端子とHDMI端子の入力信号を視聴するときの高音と低音は、他の入力信号や放送を視聴するときとは別に調整できます。

デジタル放送の録画・予約について

● 本機と録画機器をつないで、デジタル放送を録画することができます。録画・予約の種類と録画機器の準備は以下のとおりです。
● あらかじめ、接続と設定(下表を参照)をしてください。
● **録画機器を接続しないと録画や録画予約することはできません。**

録画機器	接続	設定
録画出力端子に接続した機器(ビデオやDVDなど)	準備編 33	―――
東芝レコーダー（テレビdeナビ）	準備編 34 ～ 37	準備編 34 ～ 37
レグザリンク対応の東芝レコーダー	準備編 37	準備編 43

■録画機器の種類と録画前の準備

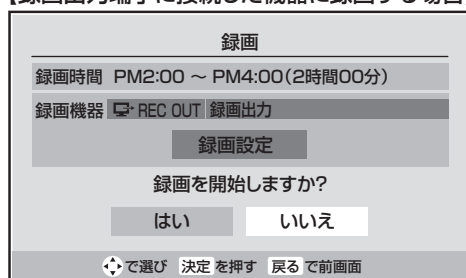
録画先	説 明	準 備
録画出力端子に接続した機器(ビデオやDVDなど)に録画するとき	自動録画機能(映像信号の入力を検出して自動録画をする機能)のある機器に録画できます。※1	● 録画できるビデオテープやDVDディスクを入れておきます。 ● 自動録画機能については、接続した機器の取扱説明書をお読みください。
東芝レコーダーに「テレビdeナビ予約」で録画するとき	東芝レコーダーに「テレビdeナビ予約」で録画できます。 ■ **東芝RDアナログでの予約**…本機の画出力からの信号(テレビ放送のみ)を録画します。 ※ハイビジョンでの録画はできません。 ■ **東芝RDデジタルでの予約**…東芝RDシリーズで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。(デジタルチューナーを内蔵した東芝RDシリーズでのみできます)「東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意」39 もご覧ください。	● **録画や予約の設定をする前に、ビデオレコーダーの電源を入れておきます。** (予約設定後は、電源を「待機」にしてもかまいません。) ● ハードディスクの残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※ ハードディスクにのみ録画予約できます。
レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合	レグザリンク対応の東芝レコーダーで受信したデジタル放送(テレビ放送のみ)を録画します。	● ハードディスクの残量と番組の記録数を確認し、不要な番組は削除しておきます。 ※ ハードディスクにのみ録画予約できます。

※1：自動録画機能がついていない機器に録画するなど、本機から制御できない場合は、録画機器側でも録画の操作や予約の設定をしてください。

■デジタル放送を録画中に見ることのできる放送

	地上アナログ	地上デジタル	BSデジタル	110度CS デジタル	ビデオ入力1 ～ 3、HDMI入力1 ～ 3
地上デジタル録画中	×	△	×	×	○
BSデジタル録画中	○	×	△	×	○
110度CSデジタル録画中	○	×	×	△	○

○：見られる
△：録画中の番組だけ見られる
×：見られない

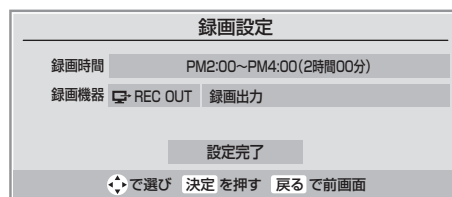
● デジタル放送の録画予約をしてから録画が始まるまでの間は、本体の電源ボタンで電源を「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。予約開始時刻までに電源を「入」にしても、正しく録画されない場合があります。(リモコンの電源ボタンで「待機」にすることはできます。)

● 地上アナログ放送、CATV放送、ビデオ入力端子につないだ機器の映像・音声を本機の録画・予約機能で録画することはできません。独立データ放送や番組連動データ放送のデータは録画できません。
● 録画出力端子につないだ機器での録画では、映像のフォーマットは480iに変換され、音声は2チャンネルに変換されます。(5.1chサラウンドのハイビジョン番組などを、そのままの画質や音声などで録画することはできません)また、字幕放送番組を録画しても字幕は録画できません。
● 予約できる番組数は、録画予約と視聴予約を合わせて32番組までです。
● 万一本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
● D-VHSビデオをVHSモードやS-VHSモードで使うときは、ビデオの場合と同じ接続・準備をしてください。

見ている番組を録画する

1 デジタル放送を見ているときに、レグザリンクを押す

2 ▲·▼で「録画/予約をする」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「機器に録画する」を選び、決定を押す

4 録画終了時刻・録画機器を確認する

【録画出力端子に接続した機器に録画する場合】

録画時間を変更する場合

- 設定できる時間は最大23時間59分です。
- 「レグザリンク設定」内の「録画時間設定」(準備編 49)で、録画開始からの録画終了時間をあらかじめ設定することができます。(お買い上げ時は録画終了時刻が2時間後に設定されています。)

❶ ▲·▼で「録画設定」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で「録画時間」を選び、決定を押す

❸ ◀·▶で「時」または「分」を選び、▲·▼で時間を設定する

録画機器を変更する場合

❶ ▲·▼で「録画設定」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼·◀·▶で「録画機器」を選び、決定を押す

❸ ▲·▼で録画機器を選び、決定を押す

録画機器	表示される名称
録画出力端子に接続した機器(ビデオやDVD)に録画するとき	「REC OUT：録画出力」
東芝レコーダーに「テレビdeナビ予約」で録画するとき	「東芝RDアナログ」 (「東芝RDアナログでの予約(録画)」をする場合に選ぶ) 「東芝RDデジタル」 (「東芝RDデジタルでの予約(録画)」をする場合に選ぶ)
レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画するとき	「HDMI1：接続した機器の形名」などが表示されます

5 録画機器の準備をする

6 ◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

- 録画が開始されます。
- 視聴制限の画面が表示された場合は、画面の操作説明に従って操作してください。

お知らせ

- 録画機器側で設定した予約録画の待機中や録画中の場合は、それらが中止されたり、録画ができなかったりすることがあります。
- 録画中は本機の一部の操作が制限されます。録画機器側の制限についてはそれぞれの取扱説明書でご確認ください。
- 「機器に録画する」で、録画をしているときに録画予約の開始時刻になると、「録画」は中止されます。

見ている番組を録画する つづき

録画設定の変更

1 前ページの手順 4 で、「録画設定」を▲･▼で選び、(決定)を押す

2 設定する項目を▲･▼･◀･▶で選び、(決定)を押す

3 ▲･▼で内容を選び、(決定)を押す

4 ▲･▼･◀･▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

● 設定を変更する前の画面に戻ります。

※ 場合によって、設定や変更ができない項目があります。

■ 録画出力端子に接続した機器(ビデオやDVDなど)に録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	REC OUT 録画出力	「REC OUT 録画出力」を選びます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	● 番組録画指定の場合に設定できます。(選択できる信号がない場合は設定できません)
音声信号	音声1/音声2/音声3など	
二重音声	主音声と副音声/ 主音声/副音声	二重音声については 22 をご覧ください。
放送時間	連動する/連動しない	● 番組指定録画の場合に設定できます。(録画予約の場合は設定できません) ● 放送局から番組遅延の情報が送信されれば、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(放送時間の繰上げには対応しません) ● 東芝レコーダーの「テレビdeナビ予約」には対応していません。 ● 放送時間連動の結果、ほかの予約と重なった場合の優先順については、39 をご覧ください。 ● 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

■ 東芝レコーダーに「テレビdeナビ予約」で録画するとき

項　目	設定する内容	説　明
録画機器	東芝RDアナログ/ 東芝RDデジタル1 ～ 3	録画予約の種類(機器)を選びます。
画質モード	TS/SP/LP/ MN1.4 ～ MN9.2	「TS」は、「東芝RDデジタル1 ～ 3」のときにだけ設定できます。 音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 (画質モードが「TS」のときは、音質モードの設定はできません)
DVD互換	切/入(主音声)/入(副音声)	音声多重番組の場合に、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します。DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。
映像信号	映像1/映像2/映像3など	「東芝RDデジタル1 ～ 3」の場合や日時指定予約の場合、選択できる信号がない場合は設定できません。
音声信号	音声1/音声2/音声3など	

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーで録画するとき

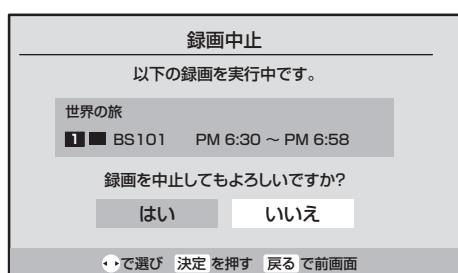
項　目	設定する内容	説　明
録画機器	HDMI1 機器名など	録画予約の種類（機器）を選びます。
画質モード※1	録画機器の現在設定内容/ 録画機器の設定1 ～ 5/ TS/SP/LP/MN1.4 ～ MN9.2	音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 （画質モードが「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」「TS」のときは、音質モードの設定はできません）
DVD 互換	切/入（主音声）/入（副音声）	音声多重番組の場合に、本機はこの設定に従った音声をビデオレコーダーに出力します。DVD-Video作成を前提とする場合は、必ず「入（主音声）」または「入（副音声）」に設定します。 「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。 画質モードを「TS」「録画機器の現在設定内容」「録画機器の設定1 ～ 5」に設定した場合は、選択できません。
放送時間	連動する/連動しない	● 放送局から番組遅延の情報が送信されれば、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。（放送時間の繰上げには対応しません） ● 東芝RDシリーズの「テレビdeナビ予約」には対応していません。 ● 日時指定予約の場合は設定できません。 ● 放送時間連動の結果、ほかの予約と重なった場合の優先順については、39 をご覧ください。 ● 放送時間の変更によって、予約した番組が録画できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

※1：「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1 ～ 5」は、録画機器側で設定されている内容です。

録画の中止

※ 東芝RDアナログでの予約（録画）の場合は、以下の操作をしても録画機器側の録画は中止されません。録画機器側でも録画中止の操作をしてください。

1 録画中に 終了 を押す

2 ◀・▶で「はい」を選び、決定 を押す

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合

❶ レグザリンク を押す
❷ ▲・▼で「映像を見る／機器選択」を選び、決定を押す
❸ 録画を停止したい機器を選び、決定を押す
❹ 「機器操作」内の「画面表示」を選び、決定を押し、録画の状態を確認する
❺ 「ドライブ切換」または「W録切換（「その他の操作」内）」で停止したい録画を選び、操作パネル 42 で▼を押す
❻ 録画停止確認画面で◀・▶で「はい」を選び、決定を押す

番組を指定して録画・予約をする

1 番組表を押す

2 ▲·▼·◀·▶で録画したい番組を選び、決定を押す

3 録画先を確認する

● 録画機器や設定を変更する場合は、33、34をご覧ください。

【例:録画出力端子に接続した機器に録画する場合】

4 以下の操作で録画・予約をする

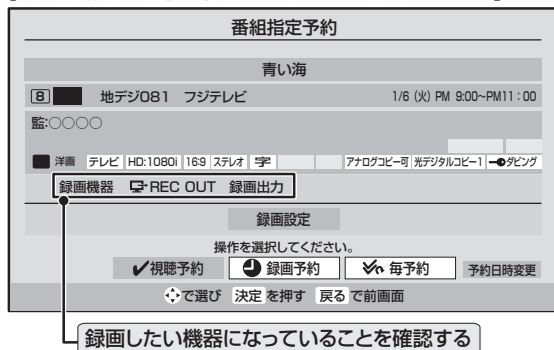
■ 現在放送中の番組を選んだ場合

❶録画機器の準備をする

❷◀·▶で「録画する」を選び、決定を押す

■ これから放送される番組を選んだ場合

❶ ▲·▼·◀·▶で「録画予約」、「視聴予約」、「毎予約」のどれかを選び、決定を押す

- **視聴予約**
  これから放送される番組の視聴だけをします。録画はされません。「視聴予約」の場合はこれで予約完了です。
- **録画予約**
  これから放送される番組を録画します。
- **毎予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。(「予約日時」を選ぶと、録画したい曜日や時間は変更することができます。)
  ※ 録画先にレグザリンク対応の東芝レコーダーを選んでいるときに選べます。

■ 予約する日時を変更する場合

① 「予約日時変更」を選び、決定を押す

② メッセージが表示されたら、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

● 「日時を指定して録画・予約をする」37の手順 **4** 以降の操作をする

※ 予約日時を変更をするときは、以下の点にご注意ください。

- 視聴制限(準備編69)は解除されません。
- 録画予約では放送時間連動の設定はできません。

❷決定を押し、録画機器の準備をする

● 視聴予約をした番組に切り換わるのは、本機の電源が「入」のときだけです。
ただし、「機器に録画する」で、「録画」をしているときには、視聴予約は取り消されます。

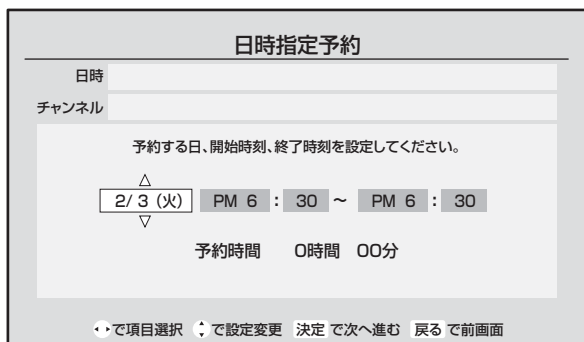
● 予約した録画は本機の電源が「入」や「待機」のときに実行されます。「待機」だった場合は、録画が始まっても映像や音声は出ません。

● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。

● 複数の番組が連続して予約されているとき、番組の最後の部分の一部が録画されないことがあります。

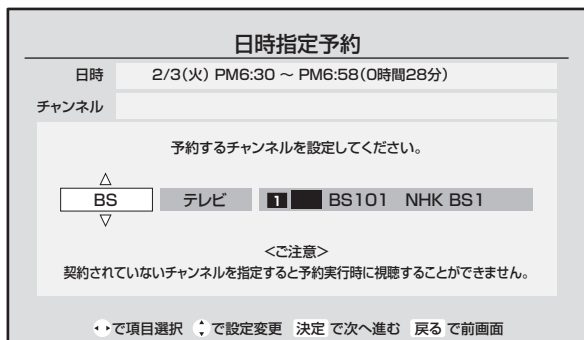
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。(東芝レコーダーは除く)

● 録画予約の「放送時間」が「連動する」に設定されている場合で、録画予約番組の放送時間が遅延・延長などで視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約は取り消されます。

● 東芝レコーダーの番組情報の取得状況によっては、テレビから毎予約した番組と異なる番組が予約設定される場合があります。

日時を指定して録画・予約をする

1 レグザリンクを押す

2 ▲·▼で「録画／予約をする」を選び、決定を押す

3 ◀·▶で「日時を指定して予約する」を選び、決定を押す

4 録画する日時を設定する

❶ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を設定する
- 日付は6週間先まで指定できます。「毎日」「毎週（日）」～「毎週（土）」「月～木」「月～金」「月～土」などの繰り返し録画も選べます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ 設定が終わったら、決定を押す

5 録画するチャンネルを設定する

❶ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ
- 放送の種類　：地デジ／BS／CS
- 放送メディア：テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ
- チャンネル　：指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

❷ 設定が終わったら、決定を押す

6 録画先を画面で確認後、◀·▶で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定を押す

- 録画先や設定を変更する場合は、33、34をご覧ください。
- 視聴予約を選んだ場合は、これで予約完了です。

「REC OUT 録画出力」を録画機器に選んだ場合
- ◀·▶で「はい」を選び、決定を押してください。

7 決定を押し、録画機器の準備をする

予約した番組の放送が始まるとき

※ 東芝RDデジタルとレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、動作が異なります。
- 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、終了を押します。
- 予約した番組の放送開始時刻になると、自動的に予約した番組のチャンネルに切り換わります。
- 視聴予約した視聴制限のある番組が始まるときには、メッセージが表示されます。決定を押したあと、暗証番号（準備編 68）を入力してください。

予約した番組の放送中

※ 東芝RDデジタルとレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、動作が異なります。
- 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画しています。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」が表示されます。

予約した番組の放送終了時

※ 東芝RDデジタルとレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、動作が異なります。
- 予約の動作が終了し、本機を通常どおり使用できます。

- 東芝RDアナログ（テレビdeナビ予約）では、番組名や番組説明は録画時に記録されません。
- 日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。映像、音声は基本のものだけが録画されます。

予約内容の確認

1 レグザリンク ◯ を押す

2 ▲・▼ で「予約を確認する」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で予約内容を見たい番組を選び、決定 を押す

4 終わったら、終了 ◯ を押す

予約の取消

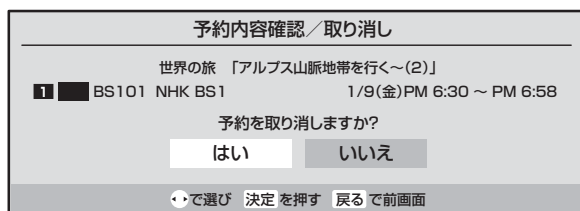
※「テレビdeナビ予約」を使って予約した場合、以下の操作で予約を取り消しても、接続機器側の予約は、取り消されません。接続機器側でも予約を取り消してください。

1 レグザリンク ◯ を押す

2 ▲・▼ で「予約を確認する」を選び、決定 を押す

3 ▲・▼で予約を取り消したい番組を選び、決定 を押す

4 ◀・▶ で「はい」を選び、決定 を押す

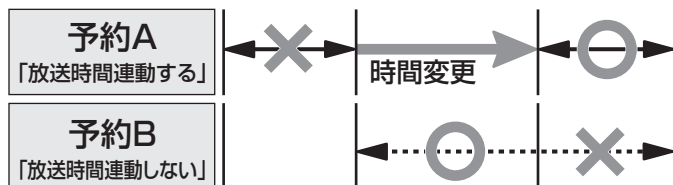
5 終わったら、終了 ◯ を押す

- チャンネル番号の表示が「ーーー」となって、内容が薄く表示された予約は、「初期スキャン、再スキャン、自動スキャン」（準備編 57 ～ 58 ）などでチャンネルがなくなったために録画できないことを示します。
- 東芝RDデジタル（テレビdeナビ予約）とレグザリンク対応の東芝レコーダーで予約した内容は予約リストに表示されません。（番組表にも予約アイコンは表示されません）予約内容の確認や予約の取消は接続機器側で行ってください。
- 番組表画面で予約済み番組を選んだ場合にも、予約内容の確認や予約の取消などができます。

予約に関するお知らせ

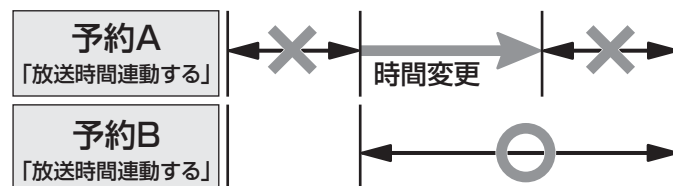
予約番組の優先順位について

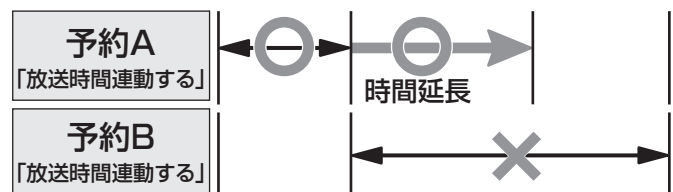
● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときには、優先順位をつけて録画します。

■「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

■「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。
● 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

■「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

(1) 開始時刻が変更された場合

■ 開始時刻の早い予約が優先されます。
● 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。

(2) 終了時刻が延長された場合

■ 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。
● 次の例では「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻が延長し時間変更に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。

(3) 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ 最初に予約設定した番組が優先されます。
● 二番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

■ 優先順位で取り消された予約は、「本機に関するお知らせ」23でお知らせします。

予約設定時にメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージが表示された場合に、予約を続けるための手順を説明します。

■「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ◄・►で「はい」を選び、決定を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約リスト画面で他の予約を取り消す
● 前ページ手順 **3** の操作で取り消します。

■「他の予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◄・►で「はい」を選び、決定を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約が重複している番組のリスト画面で、「はい」を選び、決定を押す
● 重複している予約がすべて取り消されます。

■「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」が表示された場合

❶ ◄・►で「はい」を選び、決定を押す
● ダウンロード予約が取り消されます。
● 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
● ダウンロードについては、58をご覧ください。

東芝RDデジタルでの予約(録画)のご注意

● 東芝レコーダー側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝レコーダー側で視聴制限が解除されない場合には番組は録画されません。
● 放送時間連動には対応していません。

レグザリンク対応の東芝レコーダーでの予約(録画)のご注意

● 東芝レコーダー側で非契約のチャンネルの場合は、予約の設定はできますが番組は録画されません。
● 視聴制限のある番組の場合、東芝レコーダー側で視聴制限が解除されない場合には番組は録画されません。

はじめに

レグザリンクとは

● 本機に接続したHDMI連動機能対応の録画機器や再生機器、パソコン、AVシステムなどの操作が本機のリモコンでできます。
※ レグザリンクの機能を使用する場合には、あらかじめ設定が必要です。（準備編 35、43、46）

HDMI連動機能について

● 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
● 本機と東芝製のHDMI連動機能対応機器（レコーダー、パソコン、ハイビジョンムービーカメラなど）をHDMIケーブルでつなぐことで利用できます。また、東芝推奨のAVシステムなどでも利用することができ、それらの接続機器を本機のリモコンで操作することができます。
● 推奨機器以外の機器をHDMI接続した場合にHDMI連動機能対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
● 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
● HDMI連動機能対応機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
・ 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
・ すべての接続機器の動作を確認してください。
※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。
● HDMI連動機能を使うには、接続機器それぞれの設定が必要です。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ワンタッチプレイについて

● HDMI連動機能に対応した機器を操作すると、機器に連動してテレビの電源がはいり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
※ あらかじめHDMI連動設定（準備編 43）をすることが必要です。
※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600、RD-A300では対応していません。（バージョンアップ後も対応していません）

システムスタンバイについて

● テレビのリモコンで本機の電源を「待機」にしたときや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときに、テレビからのシステムスタンバイが働き、HDMI連動機能に対応した機器も同時に電源を「待機」にします。
また、接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にすると、本機の電源を「待機」にすることもできます。
※ あらかじめHDMI連動設定（準備編 43）をすることが必要です。
※ 本機能は、東芝レコーダー RD-A600 ／ RD-A300では対応していません。（バージョンアップ後も対応していません）

HDMI連動機能対応機器を使用するときのご注意

録画・録画予約について

● HDMI連動機能を利用して録画できるのはHDMI連動機能対応の東芝レコーダーだけです。
● 録画機器の状態によっては録画設定ができなかったり、録画設定に時間がかかったりすることがあります。
● 接続機器側の録画設定が終わるまで、次の録画や録画予約をすることはできません。
● 録画設定中のメッセージが表示されているときに終了を押すと、メッセージ画面を消すことができますが、録画設定結果のメッセージは表示されません。

AVシステム機器（AVアンプなど）について

● AVシステム機器の入力状態によっては、テレビから音声が出ない場合があります。
● AVシステム連動操作中にAVシステム機器側の入力を切り換えたときに、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

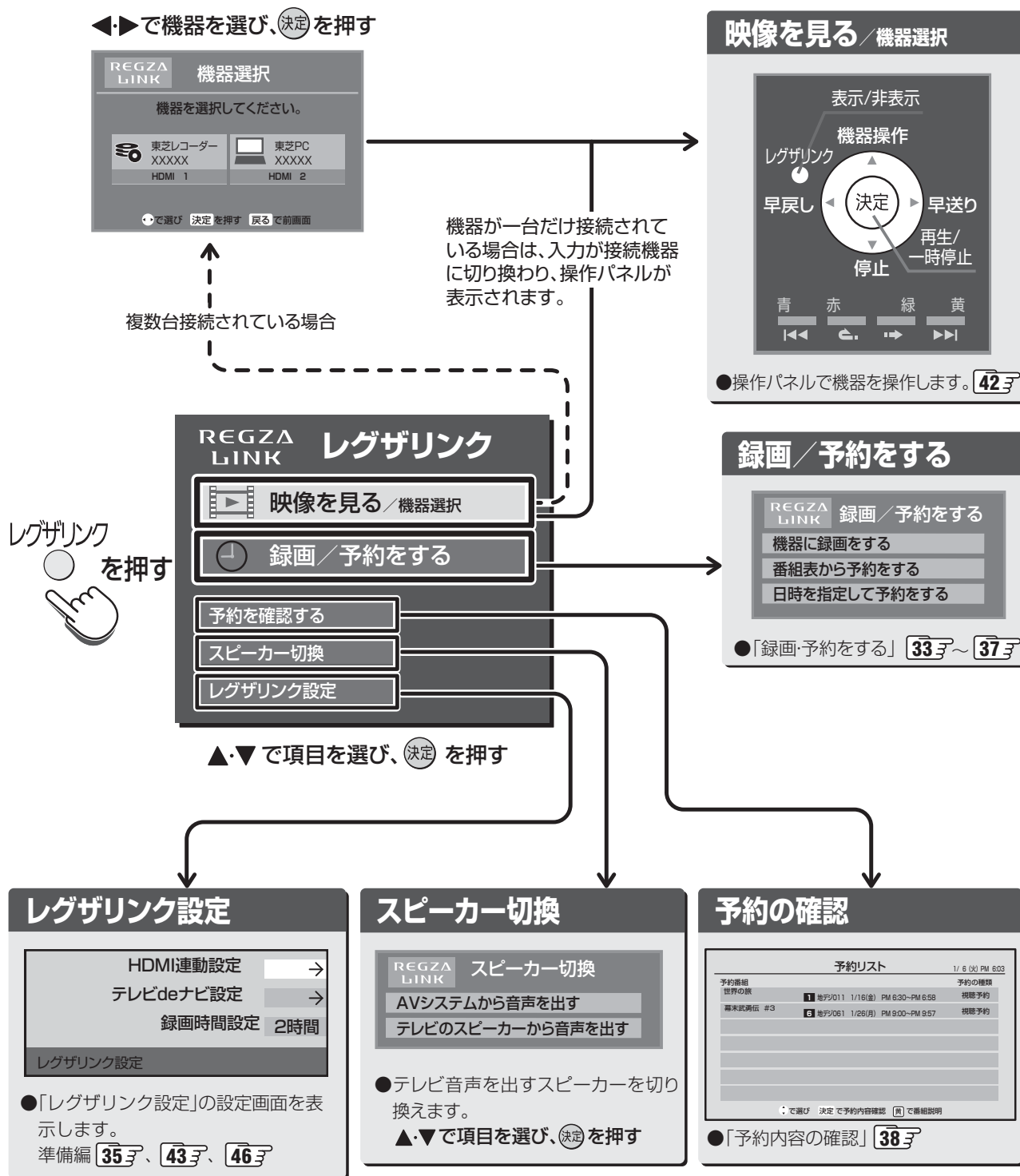
オンキヨー製AVシステム機器をHDMI連動機能を利用して連動動作させる場合のお願い

対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

● AVシステム機器の電源プラグをコンセントに差す場合には、その前に本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにまれにAVシステムが正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、AVシステム機器の電源切／入をしてください。
※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とAVシステム機器の電源が同時にはいるようなときにも起こる場合があります。

レグザリンクでできること

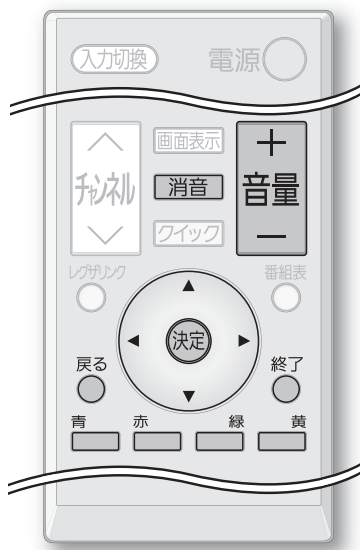
レグザリンクのメニュー

● レグザリンク を押すと、以下の機能が表示されます。
詳しい操作については、各ページを参照してください。

レグザリンクでできること つづき

本機のリモコンや操作パネル表示中にできる操作

● HDMI連動機能対応の機器を接続した場合、本機のリモコンで操作をすることができます。

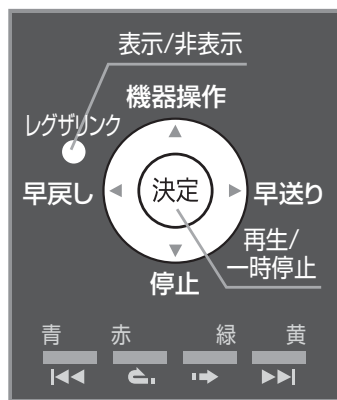
※ 以下は代表的な例です。操作する接続機器によっては、動作が異なる場合があります。

本機のリモコン

リモコン動作対応表

本機のリモコンボタン	東芝レコーダー	東芝パソコン	東芝ハイビジョンムービーカメラ	AV システム
決定	○	○	○	―
戻る	○	○	○	―
終了	○	○	○	―
青	○(Blue/A)	○ (A)	―	―
赤	○(Red/B)	○ (B)	―	―
緑	○(Green/C)	○ (C)	―	―
黄	○(Yellow/D)	○ (D)	―	―
音量＋・－	―	―	―	○
消音	―	―	―	○

操作パネル表示中

● 操作パネル表示中は、以下のボタンには操作パネルに表示された機能が割り当てられています。

[操作パネル]

レグザリンク　表示／非表示
- 操作パネルの表示/非表示を切り換えます。

決定　再生／一時停止
- 番組を再生します。
- 再生中に押すと一時停止します。

青　前スキップ
- 前に戻って頭出し再生します。

赤　ワンタッチリプレイ
- 再生中に押すと少し戻って再生します。

緑　ワンタッチスキップ
- 再生中に押すと少し先に進んで再生します。

黄　後スキップ
- 一つ先に進んで頭出し再生します。

▼　停止
- 操作の途中で押すと、操作を中断します。

早送り
- 再生中に押すと早送りします。

◀　早戻し
- 再生中に押すと早戻しします。

▲　機器操作
- 選んだ機器の機器操作画面が表示されます。

操作パネル動作対応表

※：そのときの状況によって「再生」、「一時停止」になります。

操作パネル表示中に可能な操作	東芝レコーダー	東芝パソコン	東芝ハイビジョンムービーカメラ
再生・一時停止	○※	○※	○※
停止	○	○	○
スキップ	○	○	○
早送り・早戻し	○	○	○
ワンタッチスキップ・リプレイ	○	○	ワンタッチスキップのみ
機器操作	○	○	○

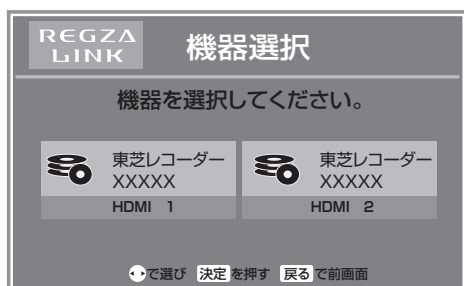
機器を操作する

機器を選択する

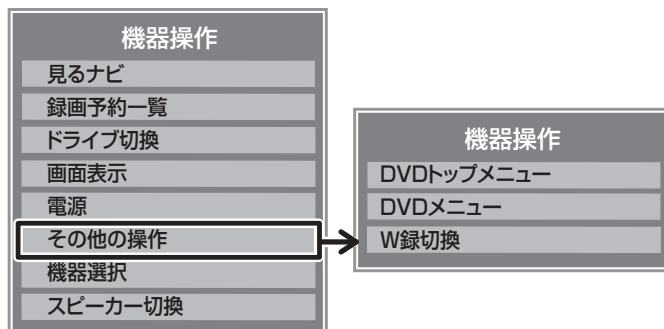
● HDMI連動機能対応機器を操作するときに選びます。

1 レグザリンクを押す

2 ▲·▼で「映像を見る／機器選択」を選び、決定を押す

● 複数の機器が接続されている場合は、機器選択画面が表示されます。操作する機器を◀·▶で選び、決定を押します。

4 操作パネルで操作する

※ 接続機器によって、動作や表示項目が異なります。

東芝レコーダー

見るナビ

●「見るナビ」画面が表示されます。

録画予約一覧

●「録画予約一覧」画面が表示されます。

ドライブ切換

●ハードディスクとDVDを切り換えます。

画面表示

●状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

●決定を押すと電源オン／オフをします。

DVDトップメニュー（その他の操作内）

●DVD視聴中に選ぶとDVDトップメニューが表示されます。

DVDメニュー（その他の操作内）

●DVD視聴中に選ぶとDVDメニューが表示されます。

W録切換（その他の操作内）

●表示されるW録設定を切り換えます。

機器選択

●操作する機器を選びなおします。

スピーカー切換

●音声をテレビから出すか、接続した外部スピーカーから出すか、切り換えます。

機器を操作する つづき

東芝パソコン

ソフトウェア選択

● 表示される項目を▲·▼で選び、決定を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● 決定を押すと電源オン／オフをします。

機器選択

● 操作する機器を選びなおします。

スピーカー切換

● 音声をテレビから出すか、接続した外部スピーカーから出すか、切り換えます。

● 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。
● アプリケーションの状態によってはパソコンでの操作が必要になる場合があります。

東芝ハイビジョンムービーカメラ

一覧表示

● 一覧表示画面が表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示内容を切り換えます。

電源

● 決定を押すと電源オフをします。

機器選択

● 操作する機器を選びなおします。

スピーカー切換

● 音声をテレビから出すか、接続した外部スピーカーから出すか、切り換えます。

● 機種によっては、「東芝カメラを操作」の「電源」を選んでも、電源を入れることはできません。

ご確認ください

自然現象や本機の特性に関すること

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害

- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
- 春分、秋分、日食など、太陽と衛星の方向が一致する食のときには、放送が休止になります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

- 本機は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

蛍光管について

- お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

■ 修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があったるすると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	•「電源」表示が赤色に点灯していますか。	•「電源」表示が赤色に点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認し、本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。7
	•「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 電源プラグをコンセントから抜き、1分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも「電源」表示が赤色に点滅しているときは故障です。本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンが動作しない	•「電源」表示が赤色に点灯していますか。	•「電源」表示が赤色に点灯していないときは、本体の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。7
	• リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	• リモコンをリモコン受光部に向けてください。（準備編 26）
	• リモコンの乾電池が消耗していませんか。	• 新しい乾電池に交換してください。（準備編 25）
	• リモコンの乾電池の極性（＋、－）が逆向きにはいっていませんか。	• 極性（＋、－）を正しく入れてください。（準備編 25）
	• 本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。	• 左記の内容を確認してもリモコンで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。
すべての操作ボタンが動作しない	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※ソフトウェアのダウンロード 58 をしている場合は、終了するまで操作ボタン（本体、リモコンの電源以外のボタン）は動作しません。**ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。**ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなることがあります。	• ソフトウェアのダウンロード中は、終了するまでお待ちください。 • 視聴中に操作できなくなった場合は、本体の電源ボタンを押し続けてください（約8秒間）。本機が再起動します。

ご確認ください つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
番組表の文字が小さい	―――――――	• 番組表の文字の大きさを変更してください。14

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（準備編 22～24 ）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線をご確認ください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• 入力切換は合っていますか。	• 本体またはリモコンの 入力切換 で外部機器を接続した入力端子を選んでください。9
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• 希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 映像メニュー 24 を確認してください。映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「お好み調整」25 でご希望の映像に設定します。
雪や雨が降ったような画面になる	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（準備編 22～24 ）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。（準備編 57 ）
画面にはん点が出る	• 平行フィーダー線（準備編 23 お知らせ）を使っていませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをお勧めします。 • 同軸ケーブルに変えることをお勧めします。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	• 平行フィーダー線（準備編 23 お知らせ）を使っていませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。 ※上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

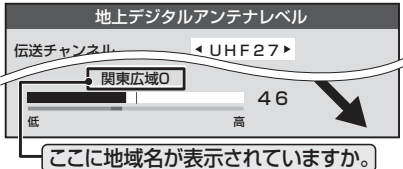
音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• ＋音量－ で音量を上げてください。7
	• 画面に「 消音 」マークが表示されていませんか。	• 消音 を押すと消音を解除できます。7 （＋音量－ を押しても解除されます）7
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 「無信号消音設定」を「オフ」にしてください。（準備編 65 ）

デジタル放送関係

デジタル放送関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で入れてください。（準備編21）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編56） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。
	• BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。（準備編55）
映像や音声が（ときどき）出たり、出なかったりする 映像の動きが（ときどき）停止する	• 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナを使用してください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。（準備編56） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。（準備編22～24）
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すれば、もとの状態に戻ります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	• チャンネルボタンを押すと「○○を録画しています。終了を押すと録画を中止します。」のメッセージが表示されますか。	• 本機からの録画中は他のデジタル放送チャンネルに切り換えられません。切り換えたい場合はメッセージに従って「終了」をしてください。（録画は中止されます）
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編21）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 付属のファーストステップガイド（有料放送加入申込書）で視聴手続きをしてください。
	• 電話回線の接続や設定は正しいですか。	• 電話回線の接続や設定が正しいかご確認ください。（準備編47、51）
引越をしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（準備編66）

映像/音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。（準備編23の「お知らせ」を参照）
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

ご確認ください つづき

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	•「お知らせ」の内容を確認しましたか。	•「お知らせ」を表示させると消えます。57
未読の「お知らせ」がなくなっている ・放送局からのお知らせ ・本機に関するお知らせ ・ボード	•「設定の初期化」をしませんでしたか。	•「設定の初期化」をすると「お知らせ」は削除されます。（準備編 71 ）
	•「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	•「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。
	•「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。	――――
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。（準備編 21 ）

地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きに入れてください。（準備編 21 ）
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続をご確認ください。（準備編 22 〜 23 ）
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • お買い上げの販売店に相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。（準備編 55 ）
	•「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。（準備編 57 ） • 受信したチャンネルは「番組表」で確認できます。10
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• 地上デジタル放送が行われているかを、もよりの放送局にお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 www.toshiba.co.jp/regza/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応（パススルー方式）になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」（準備編 57 ）をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」（準備編 58 ）をしてください。 •「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容もご確認ください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。
複数のテレビで、数字ボタンのチャンネルが異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• 一部の東芝テレビや他社メーカーのテレビの場合は、チャンネルの割り当てや枝番が同じにならないことがあります。 ※「チャンネル設定」の「手動設定」（準備編 60 ）でチャンネルの割り当てを変更することができます。
複数のテレビで、枝番 8 が異なっている		
地上デジタルアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない	地上デジタルアンテナレベル 伝送チャンネル ◂ UHF27 ▸ 関東広域0 46 低 高 ここに地域名が表示されていますか。	• 地域名が表示されている場合は、再スキャンをしてください。（準備編 58 ） ※地域名が表示されている場合でも、背面が黒画面の場合は通常の選局では受信できません。 • 地域名が表示されていない場合は、検査放送です。通常の選局では受信できません。
受信できなくなった放送局が番組表などから消えない	――――	• 初期スキャンをしてください。（準備編 57 ）

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
数字ボタンに設定した放送局が別の放送局に変わっている ※以下の場合も含みます ・以前選局できた放送がなくなっている	•「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。「本機に関するお知らせ」の内容を確認してください。57
チャンネル での選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 8 で区別されているチャンネルではありませんか。	•「番組説明」18 で枝番の有無をご確認ください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、数字ボタンに手動設定したチャンネルが消えている	•「初期スキャン」(準備編 57)をしませんでしたか。 •「再スキャン」(準備編 58)で「すべて設定し直す」を選択しませんでしたか。	• 必要に応じて再度「手動設定」をしてください。(準備編 60)
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	――――	• 番組情報を取得してください。情報取得には時間がかかる場合があります。15 • 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上待機状態にすることをおすすめします。
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	――――	• 本機は、放送時間の繰り上げには対応していません。

通信・双方向通信サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続を確認してください。(準備編 51)
	•「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• LAN端子設定を確認してください。(準備編 51) • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているか確認してください。(準備編 53)
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	•「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。(準備編 53)
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの(ADSLの場合、局から遠いなど)ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。
通信が勝手に切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	•「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。(準備編 50)

ご確認ください つづき

録画

「テレビdeナビ予約」で録画する東芝レコーダー

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
本機と東芝レコーダーで、「テレビdeナビ予約」ができない	• 本機と東芝レコーダーの接続、設定をしましたか。	• 「東芝レコーダーをつなぐ」にしたがって、接続・設定をしてください。（準備編 34 ～ 37 ）
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	• 東芝レコーダーの時刻は正しく設定されていますか。	• 時刻設定が違っている場合は、東芝レコーダーの取扱説明書を参照して正しい時刻に修正してください。
「東芝RDアナログでの予約（テレビdeナビ）」で録画中に録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	• 東芝レコーダー側で録画を中止しただけではありませんか。（本機側で録画中止しましたか）	• 本機のリモコンの 終了 を押し、確認画面で「はい」を選んで本機側を録画中止にしてください。（東芝レコーダー側で録画を中止した場合は、本機でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません）
「東芝RDアナログでの予約（テレビdeナビ）」で録画中に録画を中止したが、東芝レコーダーの録画が中止されない	• 本機側で録画を中止しただけではありませんか。（東芝レコーダー側で録画中止しましたか）	• 東芝レコーダー側で録画中止の操作をしてください。（本機側で録画を中止した場合は、東芝レコーダー側でも録画中止の操作をしてください） 35

HDMI連動機能

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
推奨機器を接続しても連動動作できない	• 接続は正しいですか。	• 接続を確認してください。（準備編 37 、 39 、 41 、 42 ） • HDMIケーブルは、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったものを使用してください。 • はじめてHDMI連動機能対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、AVシステム機器に接続している機器も含めて、すべての機器が連動しているか（画面右上の接続機器表示に「HDMI連動」アイコンが表示されます）を確認してください。
	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。	• 接続機器側の設定を確認してください。 • 「レグザリンク設定」の「HDMI連動設定」を確認してください。（準備編 43 ）
	• 接続している機器はレグザリンク対応の東芝パソコンですか。	• パソコンを再起動してからHDMIケーブルをはずし、本機と接続しなおしてください。
本機のリモコンの操作と連動機器側の動作があわない	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 推奨機器を接続しているにもかかわらず、リモコンの操作と機器の動作が合わない場合は、接続機器側のリモコンで操作してください。
接続した外部スピーカーから音が出ない	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。 • 本機との接続は正しいですか。	• AVシステム機器側の設定を確認してください。 • 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定していますか。（準備編 43 ） • AVシステム機器の接続を確認してください。（準備編 39 ） ※HDMIケーブル以外にオーディオケーブルを接続しないと、外部スピーカーからテレビの音は出ません。
映像機器からの映像と、AVシステム機器からの音声が違う	• 映像機器とAVシステムが別々のHDMI端子に接続されていませんか。	• 以下の操作をしてください。 ①「レグザリンク」の「映像を見る／機器選択」画面で映像機器を選びなおしてください。 ②映像機器をAVシステム端子に接続してください。 ③テレビ放送を視聴してから①の操作をしてください。
	• 接続している映像機器は、レグザリンク対応の東芝レコーダーですか。	• 接続を確認してください。（準備編 37 ）その後、「レグザリンク」の「映像を見る／機器選択」で映像機器を選びなおしてください。

エラー・メッセージについて

全般 (代表的なもの)

● 代表的なエラー表示、メッセージ表示について説明します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「放送が受信できません。 ・アンテナの接続や設定をご確認ください。 ・ 青 でアンテナレベルをご確認ください。コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 • アンテナの接続や設定が合っているか確認してください。(準備編 22～24) • アンテナ線を確認してください。 ※選局したチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「このチャンネルはご覧になれません。コード：E210」	• 部分受信サービス(準備編 76)を選局した。	• 本機は、部分受信サービスは受信できません。
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。57
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中である。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間を確認してください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード：E200」	• 通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 • ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	• 通常の放送チャンネルを選局してください。
「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	• 有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合など。	• 選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
「表示するチャンネルがありません。」	• 番組表で、表示するチャンネルがまったくない。	• 地デジ、BS、CS やクイック内の「テレビ／ラジオ／データ切換」で、表示できるチャンネルを選んでください。
「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	• B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	• カードを抜き差ししてください。 • B-CASカードが正しく挿入されているかご確認ください。(準備編 21)
「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：6400または6581」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• カードを抜き差ししてください。 • それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード：A104またはA105またはA106またはA107」	• B-CASカードが登録されていない。	• B-CASカードの登録をしてください。カードに記載されているB - CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	• 同梱のB-CASカード以外のカードを挿入している。	• 同梱のB-CASカードを挿入してください。
「このICカードはご使用になれません。使用可能なICカードを挿入してください。コード：EC01」	• このICカードは無効です。	
「このB-CASカードはご使用になれません。コード：A1FFまたはA102」	• 使用できないB-CASカードを挿入している。	
「B-CASカードが故障しています。」	• B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	• B-CASカスタマーセンターに、交換についてお問い合わせください。
「時刻情報を取得できませんでした。」	• デジタル放送が受信できないため、時刻情報を自動取得できない。	• しばらくしてからデジタル放送を受信して、時刻情報を自動取得してください。
「この番組には視聴制限があります。」	• 設定した視聴年齢を超えた番組を選局した。	• ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(準備編 68)

エラー・メッセージについて つづき

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード：8903または8503または8303」	• 選んだチャンネル（番組）の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	• 詳しくはご覧のチャンネルの放送局に連絡してください。

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

● メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。

● 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかった。	• 「電話回線への接続と設定」（準備編 47 ～ 49 ）で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかった。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗した。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度操作してください。 • 「LAN端子の接続と設定」（準備編 51 ～ 54 ）で、接続・設定の状態を確認してください。
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号を確認し（準備編 66 ）、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号を確認し（準備編 66 ）、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。（本機の動作は正常です）
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	• 「通信環境設定」を正しく設定し直してください。（準備編 52 ～ 54 ）
「録画時間に一部重複があります。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 録画機器側の予約時間と、本機の「テレビdeナビ予約」の時間が一部重なっている。	• 録画機器の予約内容を確認してください。
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 録画機器側で録画設定が変更されている。	• 録画機器で録画設定の内容をご確認ください。
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください」	• 録画機器側の動作との競合（何らかの操作、動作、表示をしている）がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、録画機器側の操作などを中止してください。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	• 録画機器側の予約数が制限を越えている。	• 録画機器で、予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	• 録画機器側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 録画機器の取扱説明書で、指定できる時刻の形式を確認してください。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	• 録画機器側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	• 録画機器で予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器に時刻が設定されていません。」	• 録画機器の時刻設定をしていない。	• 録画機器の時刻設定をしてください。

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「予約を設定できませんでした。」 または **「録画を設定できませんでした。」**	• 録画機器の電源がはいっていない。	• 録画機器の電源を入れてください。
	• 録画機器が正しく接続されていない。	• 本機と東芝レコーダーを正しく接続してください。(準備編 34 ～ 37) • ルーターを通してつなぐときは、正しく接続してください。(準備編 36) • HDMIケーブルで接続するときは、規格に合ったケーブルを使用してください。
	• ネットワークの設定が正しくない。	• 本機と東芝レコーダーを正しく接続してください。(準備編 34 ～ 37) • ルーターを通してつなぐときは、正しく接続してください。(準備編 36) • HDMIケーブルで接続するときは、規格に合ったケーブルを使用してください。

タイマーを使う

オンタイマーを使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「タイマー機能」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オンタイマー」を選び、決定を押す

4 「オンタイマー設定画面」で設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

■ オンタイマー機能

オンタイマーを使用する、使用しないを設定します。

❶ ▲·▼で「オンタイマー機能」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼で「入」を選び、決定を押す

● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

■ 日時

オンタイマーで本機の電源を「入」にする日時を設定します。

❶ ▲·▼で「日時」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で日時を選ぶ

● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。

❸ 設定が終わったら、決定を押す

■ チャンネル

オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ ▲·▼で「チャンネル」を選び、決定を押す

❷ ◀·▶で設定する項目を選び、▲·▼で内容を選ぶ

- 放送の種類：地デジ／ BS ／ CS
- チャンネル：設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定を押す

■ 音量

オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ ▲·▼で「音量」を選び、決定を押す

❷ ▲·▼でお好みの音量を選び、決定を押す

5 設定が終わったら、終了を押す

● 本体前面の「オンタイマー」表示が緑色に点灯します。

オフタイマーを使う

● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「タイマー機能」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で設定時間を選び、決定を押す

● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● オフタイマーが設定されているときにクイックを押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除したい場合は、上記の手順で「切」を選びます。

■「オンタイマー」について

● 「オンタイマー」を「入」にした後は、リモコンの電源ボタンで電源を切ってください。本体の電源ボタンで電源を切らないでください。

● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に切れます。

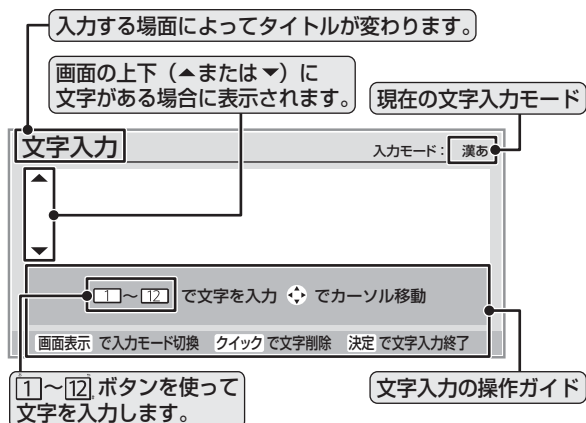
● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■「オフタイマー」について

● 設定した時刻になる前に、電源を切ったり待機状態にしたりすると、設定が取り消されます。

● 本機で録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

文字入力をする

● 番組検索のキーワード検索でフリー入力を選ぶ場面などで文字入力画面が表示されます。

1 文字入力画面で 1 ～ 12 を押して、文字を入力する

● 携帯電話と同じ操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

➡ 2 、10 、4 (6回)、2 (5回)、1 (3回)
（が　っ　こ　う）

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて 10 を押します。

● 小文字(っ、ゃ、ゅなど)にするには、大文字に続けて 10 を押すやりかたもあります。確定前であれば 10 を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

入力例：あい

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、▶を押してから次の文字を入力します。

● 文字入力モードを変えるときは 画面表示 を押します。

2 漢字に変換しないときは 決定 を押す 漢字に変換するときは▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったら、決定 を押す

● 希望する漢字に変換されない場合は、◀･▶で変換する範囲を変え、▲･▼で再度変換します。

● すべての入力が終わったら、決定 を押して文字入力を終了します。

■ 文字を挿入する場合は▲･▼･◀･▶で文字を挿入したい場所を選び、文字を入力する

■ 文字を削除する場合は、クイック を短く押す

● カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

■ 文字列が確定されている場合で削除ボタンを押し続けたとき

● カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。

■ 文字入力モード

「漢あ」：漢字変換モード	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」：全角カナモード	カタカナを入力できます。
「ａＡ」：全角英字モード	全角の英字を入力できます。
「abAB」：半角英字モード	半角の英字を入力できます。
「１２」：全角数字モード	全角の数字を入力できます。
「1234」：半角数字モード	半角の数字を入力できます。
「全角記号」：全角記号モード	全角の記号を入力できます。
「半角記号」：半角記号モード	半角の記号を入力できます。

● 文字入力の場面によっては、使用できる文字入力モードの種類が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。

■ 入力文字一覧表

リモコン	文字入力モード			
	漢字変換モード	全角カナモード	英字モード	数字
1	あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ→ヵ→ヶ	a→b→c→A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f→D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と→っ	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ	g→h→i→G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l→J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o→M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s→P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ	t→u→v→T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z→W→X→Y→Z	9
10	゛→゜→小文字変換	゛→゜→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→ゎ→、→。→ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。→ー→␣(スペース)	※1	*
12	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	※2 逆方向へ入力	#

※1：全角英字の場合……。→／→：→ー→＿→～→＠→ ␣(スペース)
　　半角英字の場合……. → / → : → - → _ → ˜ → @ → ␣(スペース)

※2：文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

● 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

お知らせ

■ 入力した文字は、次のように表示されます。
- 入力中の文字：黄色背景
- 未確定の文字：白色背景
- 漢字変換候補選択中の文字：灰色背景
- 確定した文字：背景なし

● 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。

● 漢字候補選択時に 戻る を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

● データ放送番組視聴時の文字入力の場面では、ほとんどの場合、番組が指定する方法で文字を入力します。

省エネ設定

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「機能設定」を選び、決定を押す

4 ▲·▼「省エネ設定」を選び、決定を押す

5 設定する項目を▲·▼で選び、決定を押す

6 希望の設定を▲·▼で選び、決定を押す

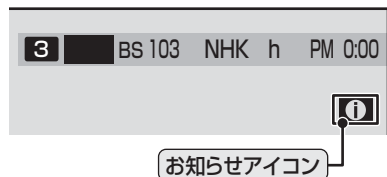
● いくつもの項目を設定する場合は、手順 **5**、**6** を繰り返してください。
● 設定が終わったら、終了を押します。

消費電力	標準
番組情報取得設定	取得する
無操作自動電源オフ	動作しない
オンエアー無信号オフ	待機にする
外部入力無信号オフ	待機にする

省エネ設定

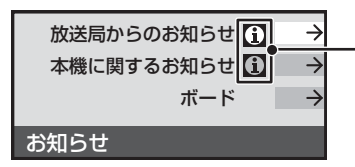
設定項目	設定と内容
消費電力	・**標準** ……標準の明るさです。 ・**減1** ……画面の明るさをおさえて、消費電力を低減します。 ・**減2** ……明るさと消費電力を「減1」よりさらにおさえたモードです。
番組情報取得設定	・**取得する** ………電源が「待機」状態(リモコンの電源ボタンで電源を切った状態)のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。 ・**取得しない** ……番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されない場合があります。
無操作自動電源オフ	・**待機にする** ……テレビの無操作状態が約3時間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……テレビの無操作状態が続いても電源が切れません。
オンエアー無信号オフ	・**待機にする** ……放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源を切り待機状態にします。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。 ※ビデオ入力(外部入力)を選んでいるときは機能しません。
外部入力無信号オフ	・**待機にする** ……外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が切れ待機状態になります。 ・**動作しない** ……無信号状態が続いても電源が切れません。

お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ(「ボード」を除く)があると、チャンネル切換時や画面表示を押したときに画面に「お知らせアイコン」が表示されます。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「お知らせ」を選び、決定を押す

● 未読のお知らせがない場合は、表示されません。

3 ▲·▼でお知らせの種類を選び、決定を押す

未読のお知らせがある場合はオレンジ色に表示されます。

- **放送局からのお知らせ**・・・・・ デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**・・・・・ 録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 読みたいお知らせを▲·▼で選び、決定を押す

● 終了を押して、お知らせを消します。

■「本機に関するお知らせ」を削除する場合

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青を押す

❷◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
● 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。

※ 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えてください。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「その他の操作」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「信号切換」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

● 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

● 本機のソフトウェアを書き換える機能です。機能の追加や改善をします。
● ダウンロードには、下表の三つの場合があります。

BSや地上デジタルの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上デジタルの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	ダウンロードをする場合は、下の操作でダウンロード予約をしてください。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする（次ページ）	イーサネット通信（「LAN端子の接続」）によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。

ダウンロード中は、電源プラグを抜かないでください。
ソフトウェアの書込みが中断され、本機が正常に動作しない場合があります。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

● ダウンロードをするには、あらかじめ電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）
● 青を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。
● 設定が終わったら、終了を押します。

自動ダウンロードの設定をする

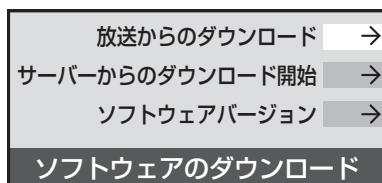
● お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 クイックを押す

2 ▲·▼で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲·▼で「初期設定」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

6 ▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

7 ▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

任意ダウンロードをする

● ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 左の「自動ダウンロードの設定をする」の手順 1 ～ 5 をする

2 ▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 画面の説明を読み、ダウンロード予約する場合は、◀·▶で「はい」を選び、決定を押す

4 ▲·▼で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す

● 予約できるダウンロードは一つです。
● 終わったら、終了を押します。
● **予約の開始時刻の前までにリモコンの電源ボタンを押し、電源を「待機」にしておいてください。**

● 任意ダウンロード用のソフトウェアは、お客様が任意で採用するものであり、自動ダウンロード用のソフトウェアとは異なります。
● ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
● 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。
● 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

その他

■ 任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをする」の手順 1 ～ 3 の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 変更後の日時を▲・▼で選び、決定を押す
❸ ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
❹ 画面のメッセージを読み、決定を押す
- 終わったら、終了を押します。
- ダウンロードは、電源が「切」または「待機」のときに行われますので、予約開始時刻の前までに電源を「切」または「待機」にしておいてください。

■ 任意ダウンロード予約を取り消すには

❶ 前ページの「任意ダウンロードをする」の手順 1 ～ 3 の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷ 予約済みのダウンロード日時を▲・▼で選び、決定を押す
❸ 画面のメッセージを読み、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- 終わったら、終了を押します。

東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。
- あらかじめLAN端子の接続と設定が必要です。
（準備編 51 ～ 53）

1 クイックを押す

2 ▲・▼で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲・▼で「サーバーからのダウンロード開始」を選び、決定を押す

6 ◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

7 画面の説明文を読んだあと、◀・▶で「はい」を選び、決定を押す
- ソフトウェアの更新をしない場合は、「いいえ」を選びます。

8 画面の指示に従って操作する
- ソフトウェアの更新にはしばらく時間がかかる場合があります。
- ソフトウェアの更新が終了したあとで決定を押すと、電源が「待機」になってから再び「入」になり、通常の視聴ができるようになります。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 クイックを押す

2 ▲・▼で「設定」を選び、決定を押す

3 ▲・▼で「初期設定」を選び、決定を押す

4 ▲・▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

5 ▲・▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定を押す

6 ソフトウェアのバージョンを確認して、決定を押す
- 終わったら、終了を押します。

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 51 ～ 54）を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

メニュー 一覧

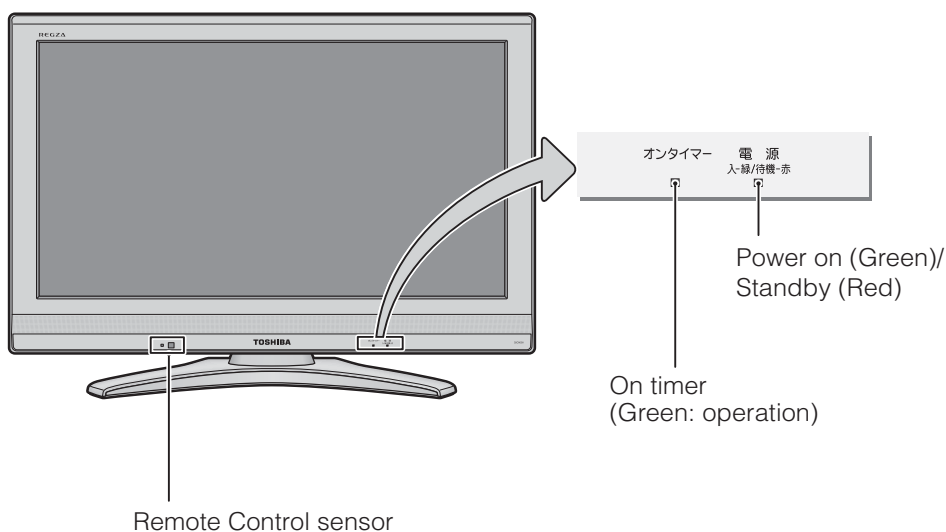
● 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です）
「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 73 ～ 74 をご覧ください。
● メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。

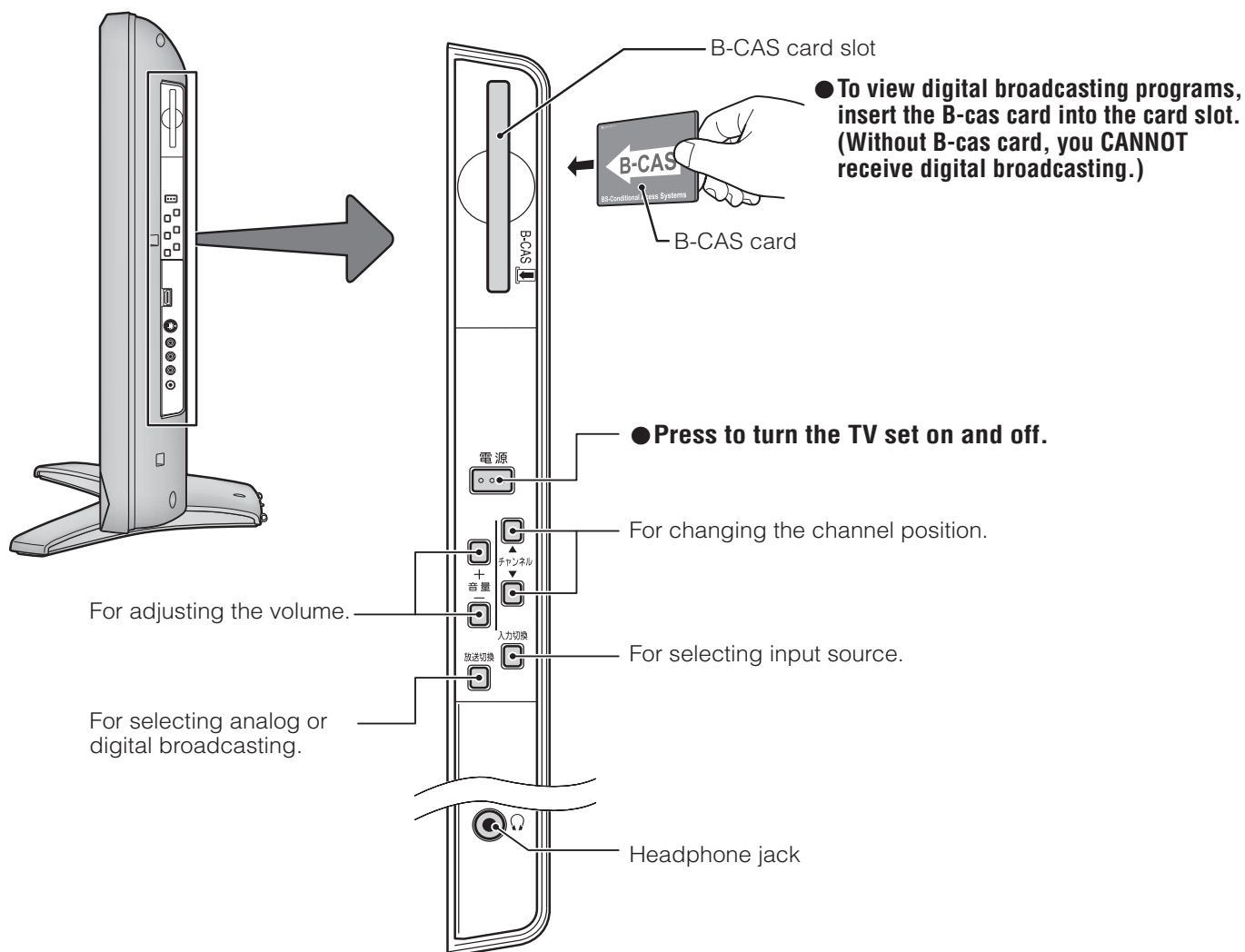
設定
つづき
初期設定
はじめての設定
アンテナ設定
地上デジタル アンテナレベル
BS･110度CS アンテナレベル
BS･110度CS アンテナ電源供給
BS中継器切換
110度CS中継器切換
チャンネル設定
地上デジタル自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
地上アナログ自動設定
手動設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
チャンネルスキップ設定
地上デジタル
地上アナログ
BS
110度CS
ステレオ/モノラル
無信号消音設定
初期設定に戻す
データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定
ルート証明書番号
通信設定
電話回線設定
ダイヤル方式
外線発信番号
電話会社の設定
電話番号通知設定
電話回線テスト
待ち時間の設定
通信接続設定
通信環境設定
LAN端子設定
IPアドレス設定
DNS設定
プロキシ設定
MACアドレス
接続テスト
接続確認メッセージ設定
通信エラー履歴
リモコン設定
選局機能設定
操作無効設定
B-CASカード番号 表示
71
ソフトウェアの ダウンロード
58
放送からのダウン ロード
自動ダウンロード
ダウンロードの予約
サーバーからの ダウンロード開始
ソフトウェア バージョン
設定の初期化

Basic Operations

- For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

[TV Front Panel]

Remote Control sensor

- **For optimum performance, aim the remote control DIRECTLY at the TV remote sensor. (within 16 ft from the TV set)**

[TV Right Side Panel]

B-CAS card slot

- **To view digital broadcasting programs, insert the B-cas card into the card slot. (Without B-cas card, you CANNOT receive digital broadcasting.)**

B-CAS card

- **Press to turn the TV set on and off.**

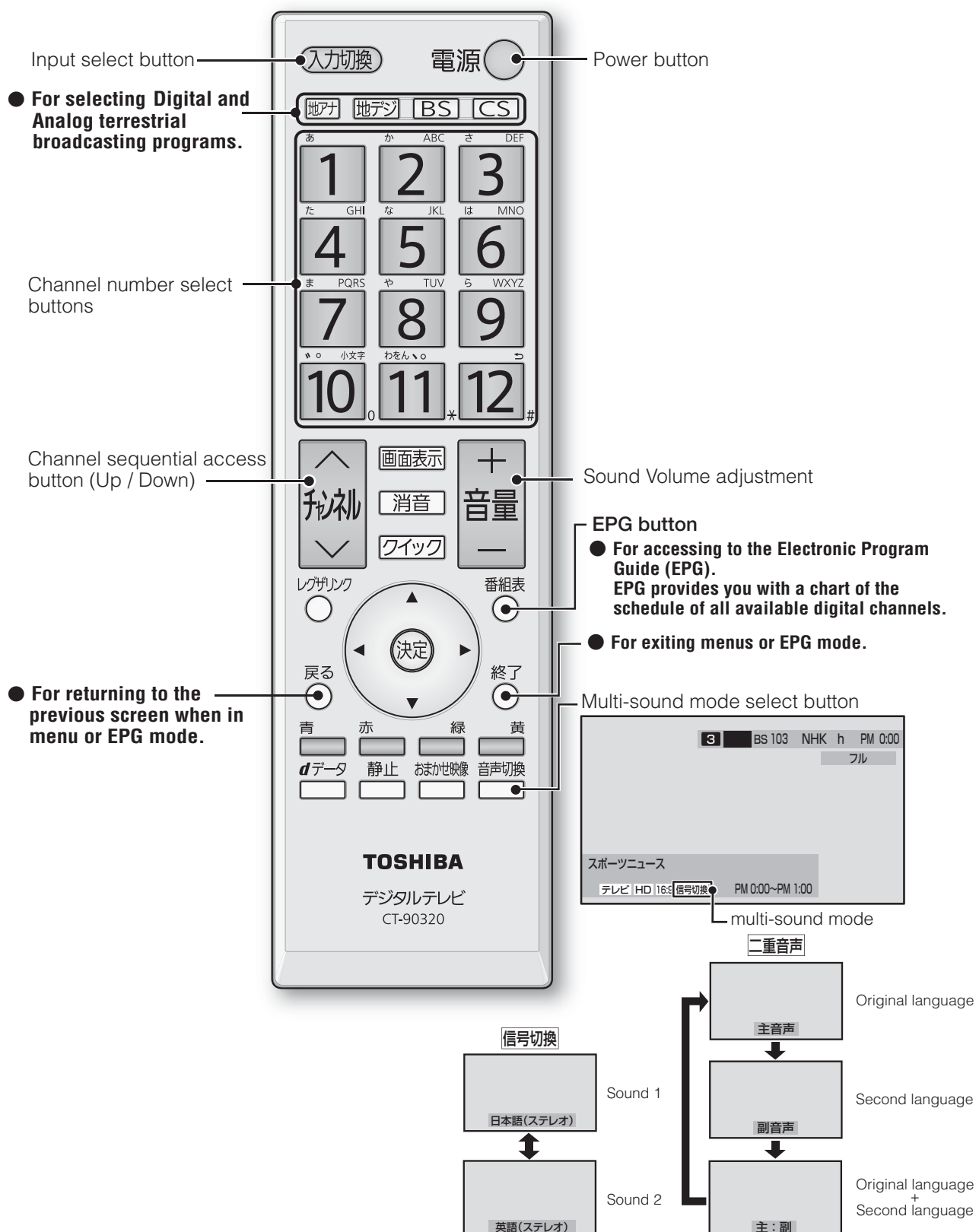
For changing the channel position.

For adjusting the volume.

For selecting input source.

For selecting analog or digital broadcasting.

Headphone jack

[Remote controller]

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	字	字幕放送
ラジオ	ラジオ放送	MV	マルチビューサービス（23「おしらせ」）
データ	データ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合（テレビ）	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合（ラジオ）	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
16：9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
4：3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
回線使用中	電話回線の使用中です	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
i	未読の「おしらせ」	デジタルコピー×	デジタル録画できない番組の場合
i	既読の「おしらせ」	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
◔	録画予約	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
✔	視聴予約	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
アナログコピー可	アナログ録画できます	光デジタルコピー×	光デジタル録音できません
アナログコピー¥	アナログ録画できません		非リンク型サービス（通信番組）12
アナログコピー×	アナログ録画できません		SSLなどの暗号通信をしている場合 12
デジタルコピー可	デジタル録画できます		

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

● 本機の HDMI 入力で VESA 規格に「○」のついている信号フォーマットは、VESA 規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されるため、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、この場合は TV の表示する解像度と異なることがあります。
● リフレッシュレートが 24/70/72/75Hz の信号は 60Hz に変換して表示します。
● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合は 60Hz の信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレート または垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA 規格
480i	720 × 480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280 × 720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920 × 1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640 × 480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800 × 600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024 × 768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280 × 768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360 × 768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280 × 1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

その他

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ 画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
● 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

さくいん

※ ページ番号の前の「準」は別冊の準備編に記載されていることを意味します。

● 数字・ABC順

● アイウエオ順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

仕様

項目		32C8000	37C8000	42C8000
種類		地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ		
形名		32C8000	37C8000	42C8000
受信機型サイズ		32V	37V	42V
電源		AC 100V 50/60Hz 共用		
消費電力	電源「入」時	100W	132W	152W
	電源「待機」時	0.15W	0.15W	0.15W
	機能動作時※1	17W	17W	17W
	電源「切」時	0.15W	0.15W	0.15W
年間消費電力量[標準]時		95kWh/年	119kWh/年	127kWh/年
区分名		BEE	BII	BII
スタンドを含む外形寸法( )は本体のみ	幅	78.6cm(78.6cm)	90.2cm(90.2cm)	100.9cm(100.9cm)
	高さ	57.4cm(52.5cm)	64.0cm(59.0cm)	70.1cm(64.9cm)
	奥行	26.6cm(8.3cm)	26.6cm(9.0cm)	31.6cm(9.0cm)
スタンドを含む質量( )は本体のみ		12.5kg(11.1kg)	15.5kg(14.1kg)	21.5 kg(19.1kg)
液晶画面	画面寸法	幅 69.8cm ×高さ 39.2cm 対角 80.0cm(32V 型)	幅 81.9cm ×高さ 46.1cm 対角 94.0cm(37V 型)	幅 93.0cm ×高さ 52.3cm 対角 106.7cm(42V 型)
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平 1366 ×垂直 768	水平 1920 ×垂直 1080	
受信チャンネル		地上アナログ:VHF(1 ~ 12)、UHF(13 ~ 62)、CATV(C13 ~ C63) 地上デジタル:VHF(1 ~ 12)、UHF(13 ~ 62)、CATV(C13 ~ C63) BSデジタル:BS000 ~ BS999、110度CSデジタル:CS000 ~ CS999		
スピーカー		3.5cm × 16cm 2 個		
音声出力		実用最大出力 10W + 10W(総合音声出力 20W)(JEITA)		
入力・出力端子	ビデオ入力※2(入力1、2、3/ゲーム)	S2映像:Y入力:1V(p-p)、75Ω、同期負、C入力:0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:200mV(rms)、22kΩ以上(ピンジャック)		
	音声出力(固定)/録画出力端子	映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)音声:250mV(rms)、 2.2kΩ以下(ピンジャック)		
	D4映像入力(ビデオ1)	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V(p-p)、P_B/C_B、P_R/C_R:0.7V(p-p)		
	HDMI入力1、2、3	HDMI(v.1.3a with Lip Sync) HDMIアナログ音声入力(HDMI入力2のみ対応):200mV(rms)、22kΩ以上(口径3.5mmステレオミニジャック)		
	光デジタル音声出力	トスリンク		
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式		
	LAN端子	RJ-45		
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω ~ 32Ω		
使用条件		使用周囲温度:0℃~ 35℃、使用周囲湿度:20%~ 80%(結露のないこと)		
角度調整範囲(テレビスタンド)		左右:それぞれ約15° 前後:不可		
付属品		準備編 5 をご覧ください		

※1:「機能動作時」は、以下の設定や動作をしている場合の電源「待機」時の消費電力です。
- 本機で受信したデジタル放送を外部機器に録画しているとき
- 番組情報などの取得中

※2:S2映像入力端子は、ビデオ入力2、3に装備しています。

● 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
● 受信機型サイズ(32V型等)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
● このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
● 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
● 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
● イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
● 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
● 年間消費電力量：年間消費電力量とは省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算出法により、一般家庭での平均視聴時間(4.5時間)を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。
● 区分名:「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネルギー法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づいた区分を行っており、その区分名称を言います。
●「JIS C 61000－3－2 適合品」 ー JIS C 61000－3－2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部:限度値ー高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
● 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部(0.01%以下)に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
● 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。(故障ではありません)
※ 本機は、マクロビジョンコーポレーションならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、マクロビジョンコーポレーションの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています
※ この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※ この製品にはOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※ この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

詳細は下記URLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

その他

● B-CASカードに登録されている番号をテレビ画面で確認することができます。

1 クイック を押す

2 ▲·▼で「設定」を選び、決定 を押す

3 ▲·▼で「初期設定」を選び、決定 を押す

4 ▲·▼で「B-CASカード番号表示」を選び、決定 を押す

● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。
● 内容を確認したら、終了 を押します。

B-CASカードID番号記入欄

● 下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

【一般回線・PHSからのご利用は】（通話料：無料）
フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

●IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【携帯電話からのご利用は】（通話料：有料）
ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】（通信料：有料）
03-3258-0470

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。 www.toshiba.co.jp/regza
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（www.toshiba.co.jp）をご参照ください。

保証書（別添）

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

●液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

●45ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	32C8000、37C8000、42C8000
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（ ） ―

廃棄時にご注意願います

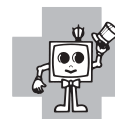
●家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！
熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?
●電源を入れても映像や音が出ない。
●映像が時々、消えることがある。
●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
●電源を切っても、映像や音が消えない。
●内部に水や異物がはいった。

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

PRINTED WITH SOY INK ●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

TD/D4 VX1A00137400